

2025年3月期 決算説明資料

2025/5/13

東証プライム 3676

<https://www.digitalhearts-hd.com/>

エグゼクティブサマリー

【セグメント別業績に関する注意事項】

- ・各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載。
セグメント利益は営業利益ベースの数値を記載。
- ・25/3期1Qよりセグメント区分を変更。
そのため、24/3期のセグメント別業績は、変更後の数値に組み替えて記載、比較を実施。

売上高

39,748百万円
(前期比 102.5%)



営業利益

2,430百万円
(前期比 119.1%)



親会社株主に帰属する当期純利益

629百万円
(前期比 355.8%)



Point
1

DHグループ事業、AGESTグループ事業ともに堅調に推移し、連結営業利益で2桁増益

- DHグループ事業においては、国内デバッグの底堅い成長に加え、ゲームのマルチプラットフォーム・マルチ言語展開の加速を背景に、翻訳やマーケティング支援等の**グローバルサービス(*)が2桁成長**を実現
- AGESTグループ事業においては、海外事業の低迷や一部事業の戦略的縮小があるも、DX投資等により好況な国内市場を追い風に**国内QAソリューションが高成長を維持し、前期比約1.6倍のセグメント利益**を達成
- 増収による営業増益に加え特別利益の計上もあり、前年に引き続き特別損失を計上するも、**当期純利益は大幅増益**

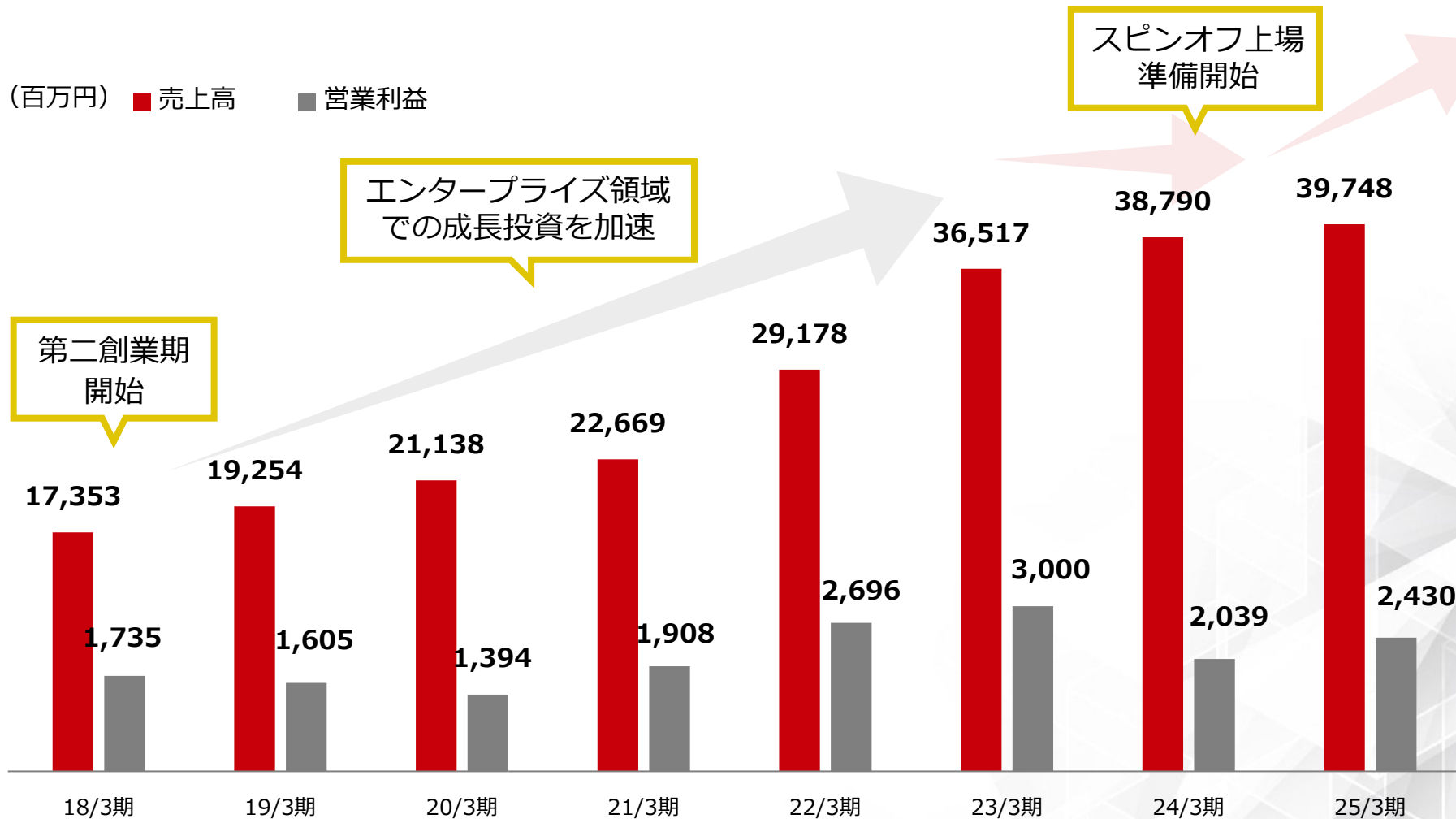
Point
2

AGESTのスピノフ上場に向けた準備を着実に推進

- 2024年4月より新たなマネジメント体制に移行し、“DHグループ”、“AGESTグループ”それぞれ独立した経営体制により、両事業のユニークな成長戦略をスピーディに実行
- AGESTにおけるバックオフィス機能構築や社外取締役選任によるガバナンス強化等、独立した上場企業として求められる経営基盤を着実に構築

⇒今後の業績進捗や株式市場環境を注視しながら、最適なタイミングでのグロース市場への上場を目指す

第二創業期以降、エンタープライズ事業を中心に売上は右肩上がりに成長
今後、スピンオフ上場により各事業の専門性を追求し、さらなる飛躍を目指す



DHグループ事業、AGESTグループ事業ともに、増収・2桁増益を達成
成長投資も着実に実施し、次期以降のさらなる成長を目指す

DHグループ事業

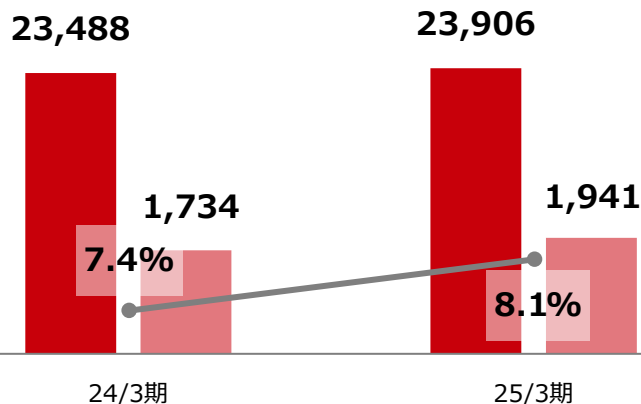
売上高

23,906百万円
(前期比101.8%)

セグメント
利益

1,941百万円
(前期比111.9%)

(百万円) ■ 売上高 ■ セグメント利益 ● セグメント利益率



- マルチプラットフォーム・マルチ言語展開加速による需要拡大を追い風に、注力事業である**グローバルサービス(*)**で**2桁増収**を達成
- 厳しい国内ゲーム市場においても、**強固な顧客関係**を維持し、大型案件受注で**国内デバッグでも増収**を実現
- **テスター等の人材育成/強化**や**テストセンター増強等**の**成長投資を継続**しつつ、利益率の改善を実現

AGESTグループ事業

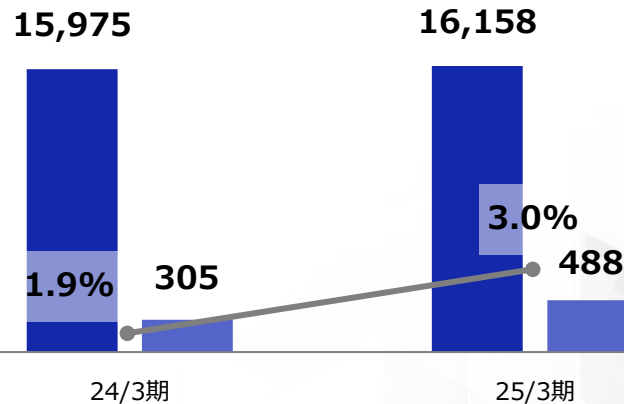
売上高

16,158百万円
(前期比101.1%)

セグメント
利益

488百万円
(前期比160.0%)

(百万円) ■ 売上高 ■ セグメント利益 ● セグメント利益率



- QAソリューションは**国内事業は継続的に2桁成長を実現**、ITサービス及びその他では低採算事業を戦略的に縮小
- 2Q以降、抜本的なオペレーション改善や稼働率向上により国内事業の**粗利率を改善**するとともに、海外事業の費用圧縮も実施し**160%の利益改善**
- 今後は、国内QAソリューションの成長を軸に、**テスト領域におけるAI活用 (TFACT)**を強力に推進

- 両事業ともに実質増収基調を継続し、**連結ベースで増収・増益**を計画
- DHグループ事業は、新型ハード発売に伴う需要増や世界市場でのマルチ言語対応加速等を背景に、ノンコア事業を行う子会社の売却影響を除いた**実質ベースで増収増益**を目指す
- AGESTグループ事業は、**スピンオフ上場準備のなか保守的な計画**となるも、国内QAソリューションにおける人材強化やAIを含む技術強化により、**前期比約1.3倍の大幅増益**を目指す
- 25/3期に計上した特別損失の反動等により、**当期純利益でも前期比2.5倍以上の増益**を計画

(百万円)	25/3期 実績	26/3期 予想	前期比	子会社売却の影響を除く前期比(*)
売上高	39,748	39,750	100.0%	108.5%
DHグループ	23,906	22,870	95.7%	109.9%
AGESTグループ	16,158	16,880	104.5%	104.5%
調整額	△316	—	—	—
営業利益	2,430	2,640	108.6%	111.9%
DHグループ	1,941	2,010	103.5%	107.4%
AGESTグループ	488	630	128.9%	128.9%
営業利益率	6.1%	6.6%	+0.5ポイント	+0.2ポイント
経常利益	2,278	2,640	115.9%	—
親会社株主に帰属する当期純利益	629	1,660	263.7%	—

ゲームの不具合を検出する“デバッグ”を創業事業に 四半世紀にわたりゲーム・エンタメコンテンツの“品質向上”を支援

当社の提供サービス

ゲーム開発

アート制作

音声収録

デバッグ

翻訳・LQA

カスタマーサポート

マーケティング

横展開

横展開



日本の“気になっちゃう”気質を活かした “品質”ソリューション

- ・日本人ならではの“きめ細やかさ”を活かしたサービスで、ゲームに“最高品質”を提供
- ・ユーザー目線から“おもしろさ”を徹底追求



ゲーマー



外国人



引きこもり
経験者

多様なバックグラウンドを有する人材の 潜在的な能力を引き出す 人材マネジメント力

- ・学歴、経歴に関わらない採用を実施
- ・得意分野を伸ばして活躍できる場を提供
- ・個人の志向に合わせた柔軟な働き方が可能な組織体制を整備

競争優位性

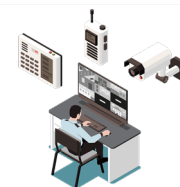
クライアントの繁閑に柔軟に対応できる オペレーション力

- ・約8,000名の登録アルバイトスタッフの中から1日単位でプロジェクトにアサインできる人材を選別
- ・数十名規模から数百名規模まで、1日単位でクライアントのオーダーに対応



クライアントが安心して業務を依頼できる セキュアなインフラ

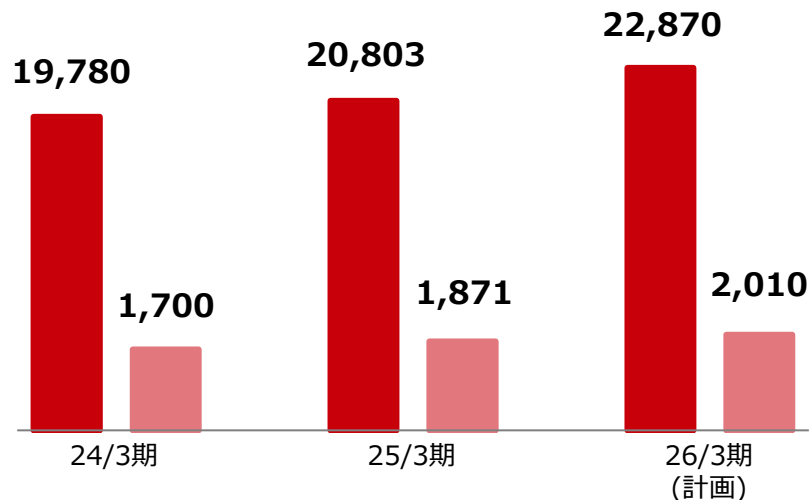
- ・国内外の拠点において情報漏洩を未然に防ぐセキュアな体制を整備
- ・アルバイトスタッフにも徹底したセキュリティ教育の実施



著作権: macrovector / 出典: Freepik

ゲームコンテンツのグローバル展開が加速するなか
日本品質を世界へ提供する“グローバル・クオリティ・パートナー”へ

(百万円) ■ 売上高 ■ セグメント利益



■ 26/3期 DHグループ事業通期計画(子会社売却の影響除く※1)

売上高

22,870百万円
(前期比109.9%)

セグメント利益

2,010百万円
(前期比107.4%)

※1 2024年12月25日付で注力事業とは異なる事業を展開する連結子会社である(株)アイデンティティーの保有全株式を譲渡しました。このため、本ページにおいては比較対象を合わせるため、すべて本影響(売上高3,103百万円、セグメント利益70百万円(連結相殺後))を除いた数値を記載しております。

■ 26/3期 ポイント

1.

Nintendo Switch 2の発売を追い風に
既存コア事業である国内デバッグの売上を拡大

2.

ゲームのグローバル化、マルチプラットフォーム化、マルチ言語化に対応した
グローバルサービス^(*2)で2桁増収

3.

学歴、経歴、国籍等、豊富かつ多様なゲーム人材が多様な働き方で事業を支える
独自のユニークな人材モデルでサービス拡充及び新規事業創出

Nintendo Switch 2
専用テスト機材を

早くも600台保有!

(*2025年3月31日現在)

ゲームやエンタメの産業構造が急速に変化するなか、進化・拡大が続く新たな領域・市場にも他社との資本提携含め果敢に投資し、未来を見据えた挑戦を継続

ブロックチェーンやAI等の技術、通信環境、デバイスが加速度的に進化するなか、ゲームコンテンツやゲームプレイ環境も大きく変化

注目分野

ブロックチェーン
(Web3)

eSports

AI

チャレンジ

Web3 / eSports



出資

Web3ゲーム



TOKYO GAMEFI

出資

シニア向けeSports

GeeSports

出資

eSportsチーム



FENNEL

出資

AI / 自動運転

TURING

出資

AI翻訳

eIIa translation service

IT投資

eSports領域

シニア層に向けた新たなエンタメを創造
大阪・関西万博でシニアeSports大会も開催!!



その一歩が、未来を動かす。
That one step will shift the future.

大阪・関西万博「イベント」に参加しています In Partnership with Events at Expo 2025

- ・シニア向けゲームを開発/運営する**GeeSports LLP**
(正式名称：GeeSports万博実行委員会有限責任事業組合)に出資
- ・シニア層の**認知機能の低下予防等**をゲームで楽しく！
- ・**2025年日本国際博覧会**でGeeSports LLP主催の
GeeSports大会を開催予定！

? GeeSportsとは ?

GrandParentsが、ゲームをプレイすることで**Exciting**なワクワク感を得るだけでなく、生きがいや自信を持つきっかけに。
また、ゲームを楽しむシニアの姿が周囲の人々に**Empower**する力を与え、世代を超えたコミュニケーションの創発を促すことを期待しています。

eSports領域

eSports市場のさらなる発展に向け
強豪チームの1つであるFENNEL社に出資



- ・プロ選手としての**キャリアを支援**
- ・**Z世代**に向け、“デジタルハーツ”の企業認知度向上
- ・ゲーム好きが多い当社グループ従業員の**モチベーションを向上**

Web3領域

これまでにはない全く新しいゲーム領域となる
Web3ゲームの普及拡大を目指す



- ・サイバーエージェントグループのWeb3領域における戦略子会社である**TOKYO GameFi社**に出資
- ・コアゲーマーや各国のeSports大会でも注目されるP2Eゲーム“PARAVOX”の開発/運営を行う**81RAVENS社**に出資

次世代QAを中心としたソフトウェアテストのノウハウと革新的なAIテストツール「TFACT」により、新しい時代のQAデファクトスタンダードを目指す

AGESTは、エンタープライズシステムの品質を先端技術で支える
「**AI時代のAIテスト企業**」

次世代QAエンジニア



QA専門知識×先端技術を有し、開発段階からソフトウェアテストを支援するQAエンジニア

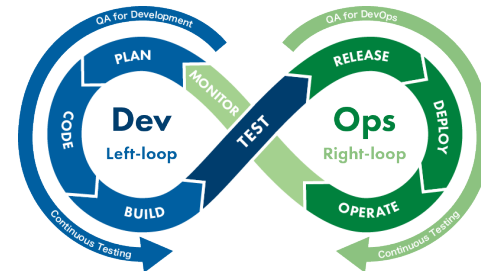
AGEST

AIテストツール



AGESTが独自に開発した、テスト工数の大幅削減を実現する、AIを活用した新しい時代のテストツール

QA品質



開発から運用フェーズまで、ソフトウェアのライフサイクル全体での品質を支えるAGESTのQA（Quality Assurance）サービス

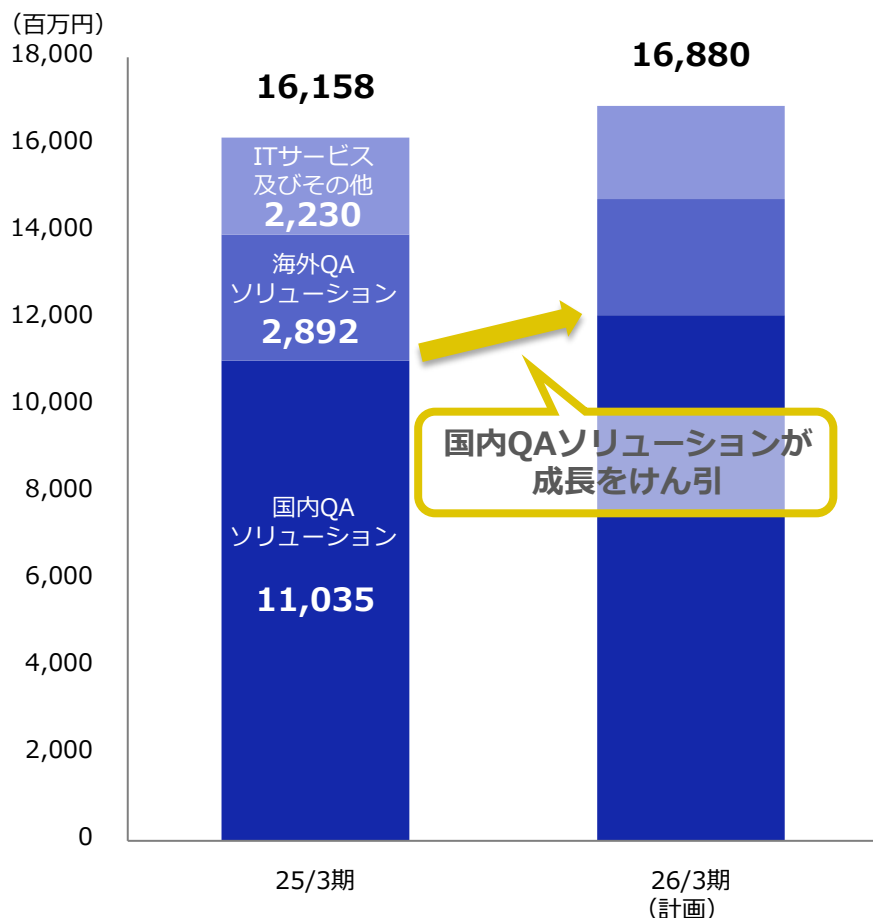
テスト領域でのAI活用促進により**国内QAソリューションを中心に売上を拡大**

テストエンジニアの採用拡大や顧客単価の改善を進めつつ、

25/3期に着手したオペレーション改革による粗利率向上もあわせ、**前年に続き大幅増益を目指す**

■ AGESTグループ事業 売上高推移

■ 26/3期 AGESTグループ事業通期計画



売上高	セグメント利益
16,880 百万円 (前期比104.5%)	630 百万円 (前期比128.9%)

- AGESTグループは**国内QAソリューションの大幅増収**を軸に拡大
- 25/3期にオペレーションを抜本改善し、26/3期は高い粗利率を維持継続
(AGESTグループ粗利率 25/3期 **26%**➡ 26/3期 **27%**)
- 次世代QAエンジニアを中心とした採用活動を強化
- 国内の好調な市場環境を追い風に、先んじて**テスト領域におけるAI活用を進める**など、競合優位性を確立

	25/3期	26/3期(計画)
国内テストエンジニア 採用数	67名	117名
グループ平均 顧客単価	19百万円	20百万円

革新的なAIテストツール「TFACT β版」を2025年1月にリリース
テスト設計から実施、レポート作成までAIがアシストする高い機能が評価され、早くも問い合わせは**300件を超え、20件以上のプロジェクト**が稼働開始
特許出願したAIデバッグ機能等の技術的優位性をベースに、さらなる機能拡充やマーケティング促進による認知度向上を通じ、拡大基盤を構築



AGESTの高度
QAを支える
次世代QAエンジニア

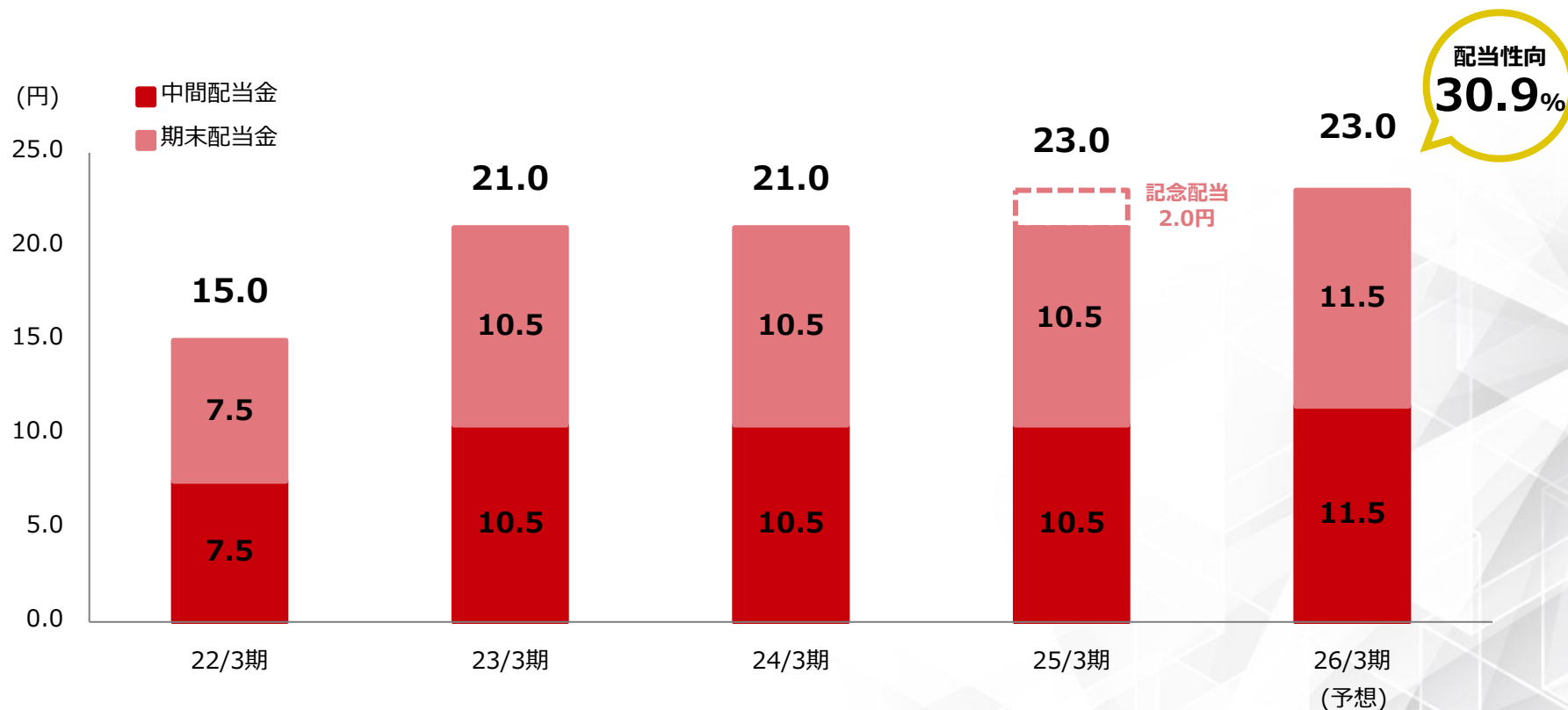
TFACT
Testing Factory
— AGEST AI Assist

- AIがQAエンジニアを強力にサポートする**革新的なAIテストツール**
- **テストケース作成から、自動実行、テスト結果分析・レポート自動作成、テストケース管理までワンストップ**でAIがアシストし、**テスト工数を30%削減**
- 従来の自動化ツールは複数回のテスト自動実行により効果を向上させていたことに対し、TFACTは**1回の自動実行で同様以上の効果を発揮**し、圧倒的な効率化も実現

1株当たりの年間配当金は**前期普通配当より2.0円増配の23.0円**を予想

株主還元基本方針

事業成長投資と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、
配当性向20%を下限の目途として、株主の皆様へ安定的な配当を実施



明確に異なる事業価値創造戦略を有する2つの事業を個別に上場、
経営フォーカスと最適な資本政策でそれぞれの事業の持つポテンシャルを最大化

DHグループ事業

- 確立され、差別化された事業モデル
- 明確なValue Proposition
- コア事業の縦横展開(グローバル展開)

AGESTグループ事業

- 変化・革新を求められる事業モデル
- イノベーションから生まれる事業価値
- 技術とスペシャリストの付加価値向上

拠点投資と安定成長

技術投資と革新的な成長

- ✓ 経営のフォーカスが高まり、新たな株主も惹きつける最適な資本政策で、中期的な収益性が向上
- ✓ 内在する個別事業価値が市場で直接評価されることで、それぞれの事業が有する本源的な価値に収れん
- ✓ コングロメリット・ディスカウント等が解消され、シンプルでわかりやすい株価形成へ

スピンオフのスキーム



2025年3月期 連結業績

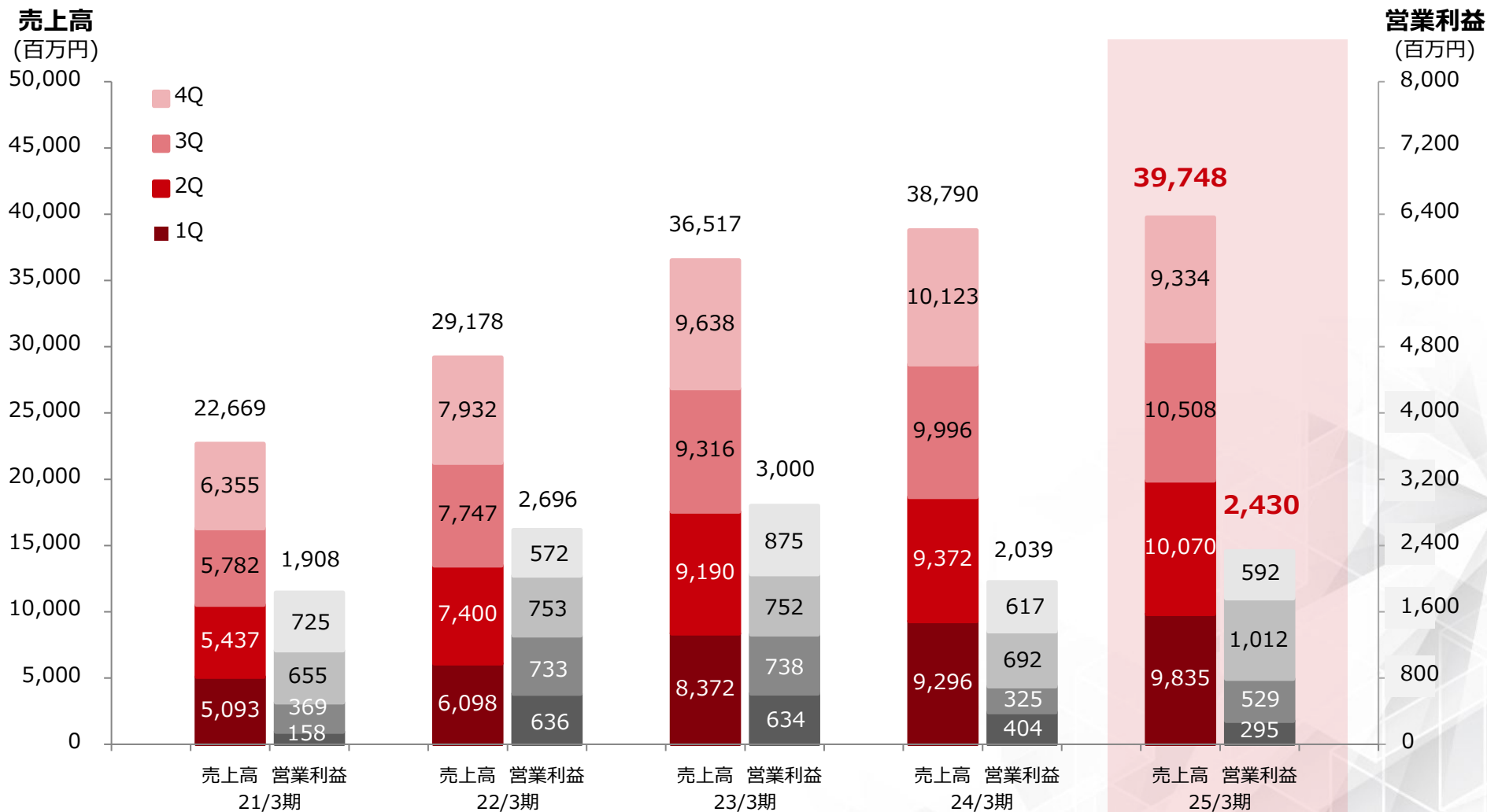
【セグメント別業績に関する注意事項】

- ・各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載。
セグメント利益は営業利益ベースの数値を記載。
- ・25/3期1Qよりセグメント区分を変更。
そのため、24/3期のセグメント別業績は、変更後の数値に組み替えて記載、比較を実施。

- グローバルサービス^(*)の拡大を受けたDHグループ事業、好調な国内事業に支えられた AGESTグループ事業ともに**増収を記録し、連結営業利益は概ね計画通りの2桁増益を達成**
- 増収による営業増益に加え特別利益の計上もあり、前年に引き続き特別損失を計上するも、**当期純利益は前期比3倍以上の大幅増益**

(百万円)	24/3期	25/3期	増減額	前期比
売上高	38,790	39,748	958	102.5%
売上原価	28,699	29,611	911	103.2%
原価率	74.0%	74.5%		+0.5ポイント
売上総利益	10,090	10,137	46	100.5%
販管費	8,051	7,707	△343	95.7%
営業利益	2,039	2,430	390	119.1%
営業利益率	5.3%	6.1%		+0.9ポイント
経常利益	2,059	2,278	219	110.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	176	629	452	355.8%
EBITDA	3,077	3,456	378	112.3%

当期4Q(1月-3月)は、新型ハード専用テスト機材の整備や営業費用の増強等の成長投資を積極化
25/3期 通期では、過去最高の売上高を更新し、営業利益で2桁増益を達成



2025年3月期 連結貸借対照表

(百万円)	24/3期(期末)	25/3期(期末)	増減額(対前期末)
資産合計	21,103	19,949	△1,153
流動資産	13,526	14,069	542
現金及び預金	6,858	7,593	735
固定資産	7,576	5,880	△1,696
有形固定資産	1,491	1,475	△15
無形固定資産	2,908	1,748	△1,159
のれん	2,313	1,035	△1,277
投資その他の資産	3,177	2,656	△521
負債合計	12,250	10,688	△1,561
流動負債	12,026	10,473	△1,553
短期借入金	7,095	5,200	△1,895
固定負債	224	215	△8
純資産合計	8,852	9,260	408
株主資本	7,685	7,859	173
その他の包括利益累計額	729	1,094	364
非支配株主持分	436	306	△129
負債・純資産合計	21,103	19,949	△1,153

(百万円)	前期実績 24/3期	当期実績 25/3期	増減額
営業活動CF	1,759	3,119	1,360
※ 法人税等の支払等差引前の営業CF	2,739	3,777	1,038
投資活動CF	△2,369	△5	2,364
財務活動CF	934	△2,555	△3,489
現金及び現金同等物に係る換算差額	77	176	98
現金及び現金同等物の増減額	401	735	333
現金及び現金同等物の期首残高	6,456	6,858	401
現金及び現金同等物の期末残高	6,858	7,593	735

営業外費用

212百万円

➤ 為替差損 90百万円

- ・グループ内借入等の外貨取引に係る為替差損

特別利益

625百万円

➤ 関係会社株式売却益 589百万円

- ・MK Partners, Inc.及び株式会社アイデンティティの株式売却益

特別損失

1,258百万円

➤ 投資有価証券評価損 1,184百万円

- ・当社が保有する81RAVENS PTE. LTD.、ジェットシンセシス株式会社、株式会社GameWithの計3社の投資有価証券の減損処理を実施

セグメント別実績

【セグメント別業績に関する注意事項】

- ・各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載。
セグメント利益は営業利益ベースの数値を記載。
- ・25/3期1Qよりセグメント区分を変更。
そのため、24/3期のセグメント別業績は、変更後の数値に組み替えて記載、比較を実施。

スピンオフ上場に向け、 25/3期から“DHグループ”及び“AGESTグループ”の開示セグメントに変更

*変更部分に下線

■ 24/3期以前

開示セグメント	主要サービス等
エンターテインメント事業	
国内デバッグ	ゲームデバッグ
グローバル及びその他	翻訳・LQA マーケティング支援 ゲーム開発支援 カスタマーサポート

エンタープライズ事業	
QAソリューション	システムテスト セキュリティテスト 受託開発 ERP/CRM導入支援
ITサービス及びその他	<u>エンジニア派遣(SES)</u> セキュリティ監視 保守・運用支援

調整	セグメント間取引 <u>持株会社の費用</u>
----	----------------------------

■ 25/3期以降

開示セグメント	主要サービス等	主要会社
DHグループ事業		
	<u>持株会社の費用</u>	(株)デジタルハーツホールディングス
国内デバッグ	ゲームデバッグ <u>その他デバッグ等(AGEST業務の一部請負等)</u>	(株)デジタルハーツ
グローバル及びその他	翻訳・LQA マーケティング支援 ゲーム開発支援 カスタマーサポート <u>エンジニア派遣(SES)</u>	(株)デジタルハーツ DIGITAL HEARTS CROSSグループ (株)フレイムハーツ Aetas(株) (株)アイデンティティー (*1)

AGESTグループ事業		
QAソリューション	システムテスト セキュリティテスト 受託開発 ERP/CRM導入支援	(株)AGEST LOGIGEAR CORPORATION (株)CEGB (株)GPC
ITサービス及びその他	セキュリティ監視 保守・運用支援	(株)AGEST

調整	セグメント間取引	-
----	----------	---

*1 2024年12月25日付で(株)アイデンティティーの全株式を譲渡しております。

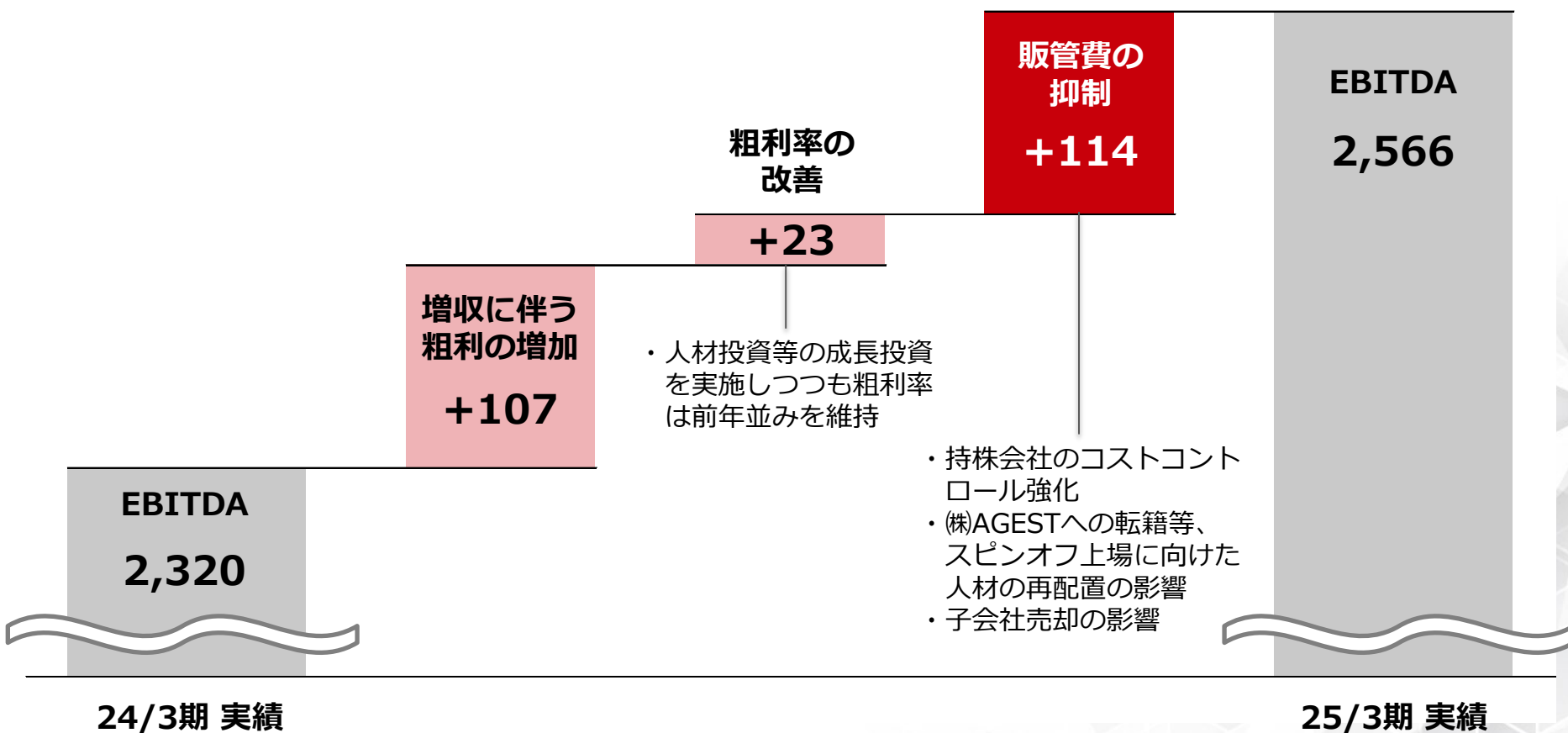
(百万円)		前期実績 24/3期	当期実績 25/3期	前期比
売上高		38,790	39,748	102.5%
	DHグループ	23,488	23,906	101.8%
	AGESTグループ	15,975	16,158	101.1%
	調整額	△674	△316	—
営業利益		2,039	2,430	119.1%
	DHグループ	1,734	1,941	111.9%
	AGESTグループ	305	488	160.0%
EBITDA		3,077	3,456	112.3%
	DHグループ	2,320	2,566	110.6%
	AGESTグループ	757	890	117.5%

- 売上高は、ノンコア事業を行う子会社の売却影響を除いて前期比105%の増収を達成、新型ハード専用テスト機材整備等の成長投資を行いつつセグメント利益は2桁増益を実現
- グローバル及びその他は、ゲーム特化型AI翻訳エンジン「ella」を活用した新サービスを開始した翻訳・LQAやマーケティング支援が好調に推移したことでグローバルサービス^(*)が前期比120%増収を達成し、ノンコア事業を行う子会社の売却影響をカバー
- 収益性が高い国内デバッグは、国内ゲーム市場が弱含みで推移するなか、戦略的な営業活動等が奏功し新規案件を着実に獲得したことにより前期比104%の増収を実現
- テストセンター/新型ハード専用テスト機材への投資や人材育成強化を継続しつつ、売上拡大に伴う粗利増加や経費コントロールにより、セグメント利益は前期比112%を実現

(百万円)	前期実績 24/3期	当期実績 25/3期	前期比
売上高	23,488	23,906	101.8%
国内デバッグ	13,180	13,679	103.8%
グローバル及びその他 * 2024年12月に売却した(株)アイデンティティーを含む	10,308	10,226	99.2%
セグメント利益	1,734	1,941	111.9%
EBITDA	2,320	2,566	110.6%

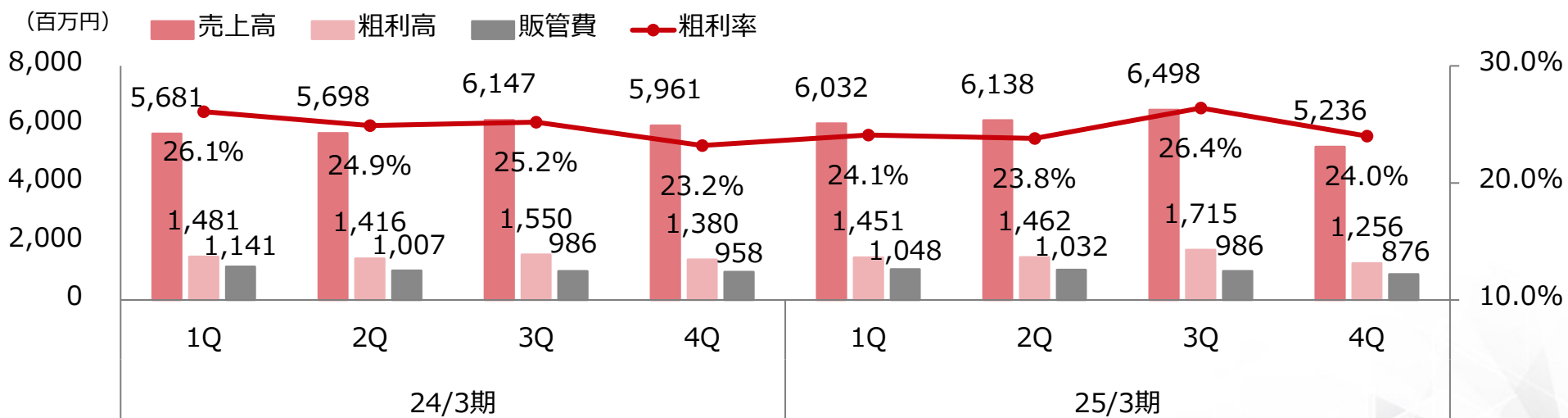
グローバルサービス^(*)を中心とする大幅増収や好採算案件獲得による粗利率改善に、
販管費抑制による影響も加わり、EBITDAは前期比110.6%と大幅に伸長

(単位：百万円)

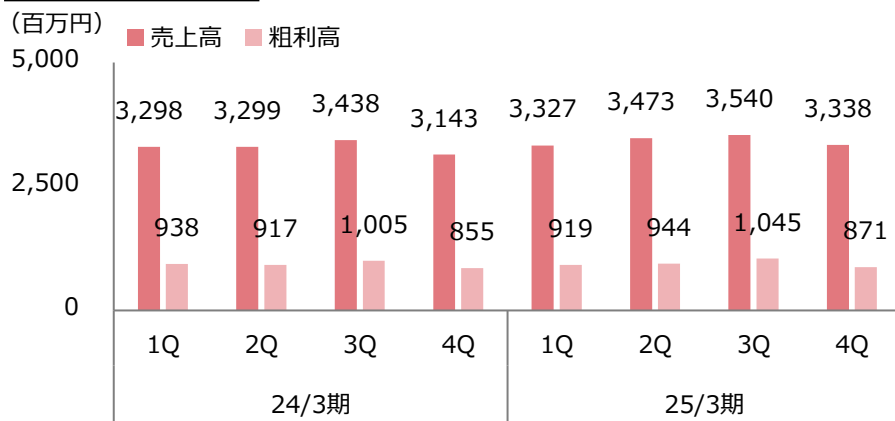


業績推移

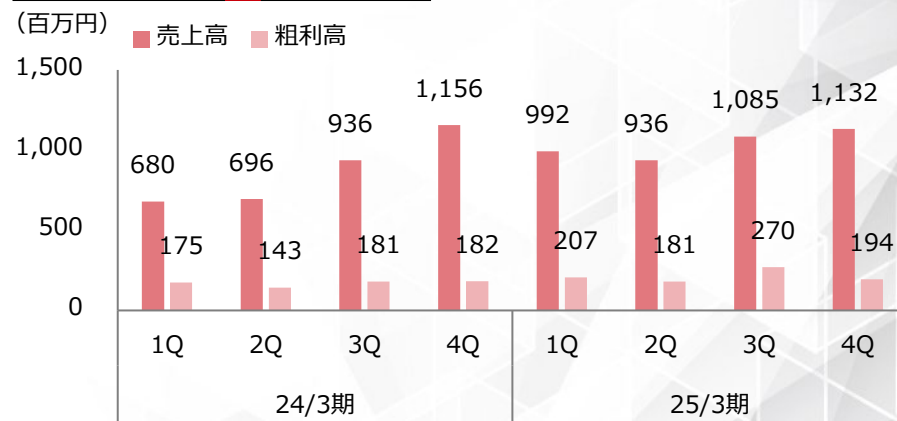
DHグループ事業全体



国内デバッグ

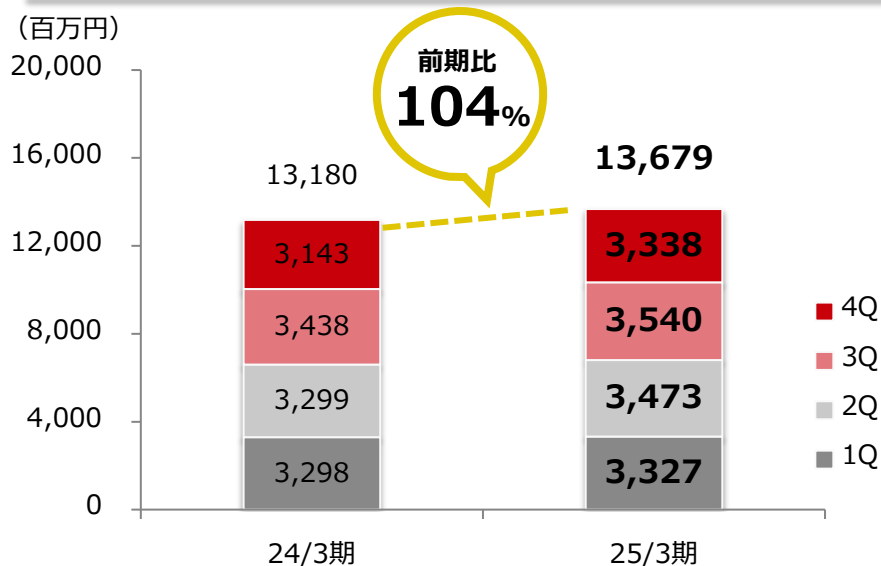


グローバル(*)サービス

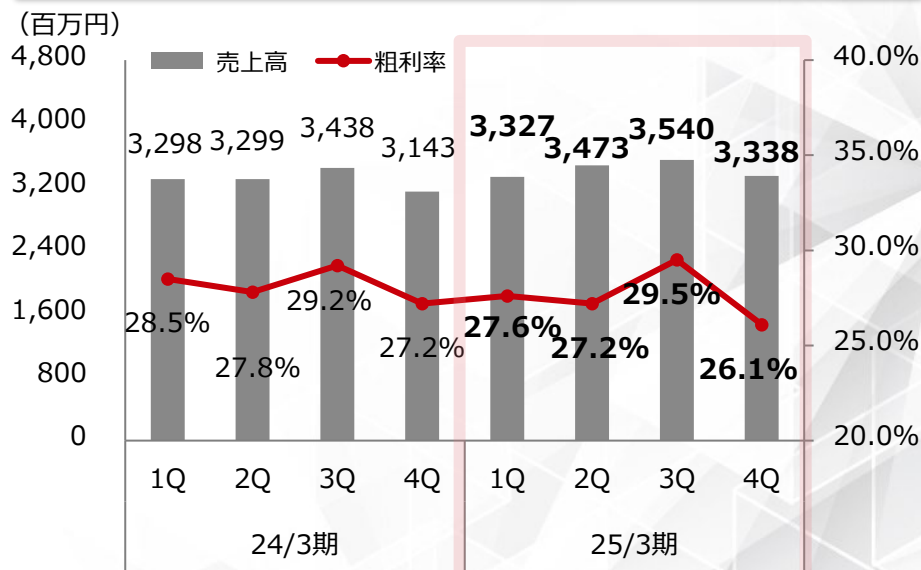


- 重点クライアントとの関係強化及び新規タイトル開発を活発に行っているクライアントにリソースを集中させるなどの戦略的な営業活動に注力することで、**国内ゲーム市場が弱含みで推移するなかにおいても増収を達成**
- テスターの時給引き上げをはじめとする**人的資本への投資**を継続するとともに、テストセンターである**京都Lab.及び名古屋Lab.の増床**や、当期4Qには**Nintendo Switch 2専用テスト機材をいち早く整備**することで、次期以降の需要拡大を見据えた受注体制を強化
- 成長投資を実行しつつ、独自の品質メソッドであるDHQ(Digital Hearts Quality)の推進による付加価値向上等による**価格転嫁を着実に**行うことで、**通期粗利率は前期並み**を維持

売上高推移

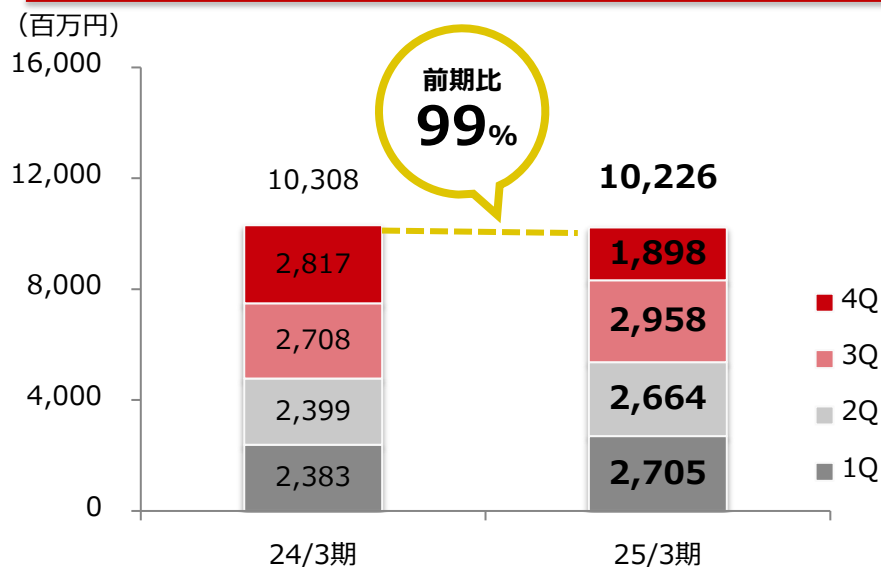


売上高・粗利率推移

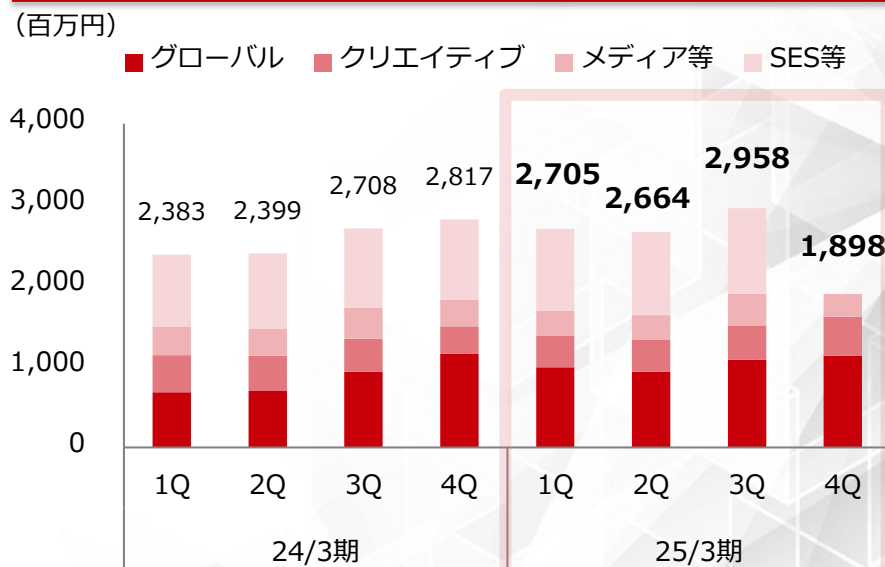


- **革新的なゲーム特化型AI翻訳エンジン「ella」**を活用した翻訳サービスの開始等により、注力事業であるグローバルサービス(翻訳・LQA・マーケティング支援)で**前期比120%増収**を実現
- 欧州・中国・日本・韓国における各国最大規模のゲームショウへの出展を通じ、**「DIGITAL HEARTS」の認知拡大やグローバルブランディングの確立に注力**
- グループ全体でみた**資産効率の改善、コア事業への経営資源集中**を目的に、2024年12月25日付でSES事業を行う連結子会社**(株)アイデンティティーの全株式を譲渡**
- eSports、Web3、AI等、今後市場成長が期待できる領域への投資を積極化することで、**新たな事業収益モデルの創造にチャレンジ**

売上高推移



サービス別売上高推移

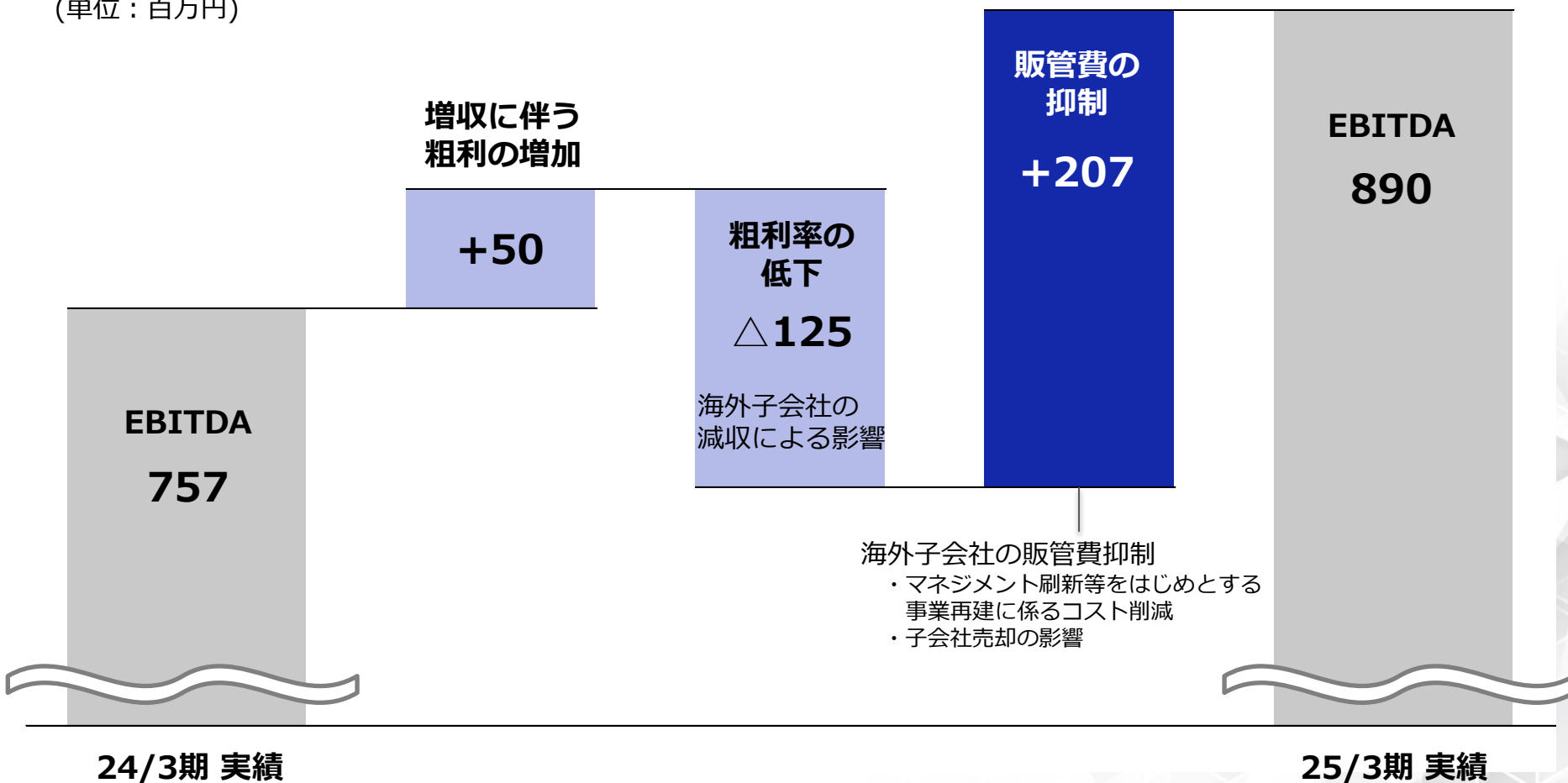


- 国内市場でのテスト需要増加を背景に**国内QAソリューションが2桁成長を実現し**、低調な海外事業をカバーすることで、QAソリューション全体として**前期比104%と増収トレンドを継続**
- ITサービス及びその他は、収益性の低い事業の**戦略的な縮小**により減収
- 1Qは特定案件の影響により一時的に粗利率が低下したものの、**2Q以降前期並みの粗利率に回復**するとともに、海外子会社の再建に伴う販管費抑制等の**コストコントロール強化**も加わり、**下期セグメント利益率は6.0%を記録**、通期セグメント利益は**前期比1.6倍の大幅増益**を達成

(百万円)	前期実績 24/3期	当期実績 25/3期	前期比
売上高	15,975	16,158	101.1%
QAソリューション	13,364	13,928	104.2%
ITサービス及びその他	2,611	2,230	85.4%
セグメント利益	305	488	160.0%
EBITDA	757	890	117.5%

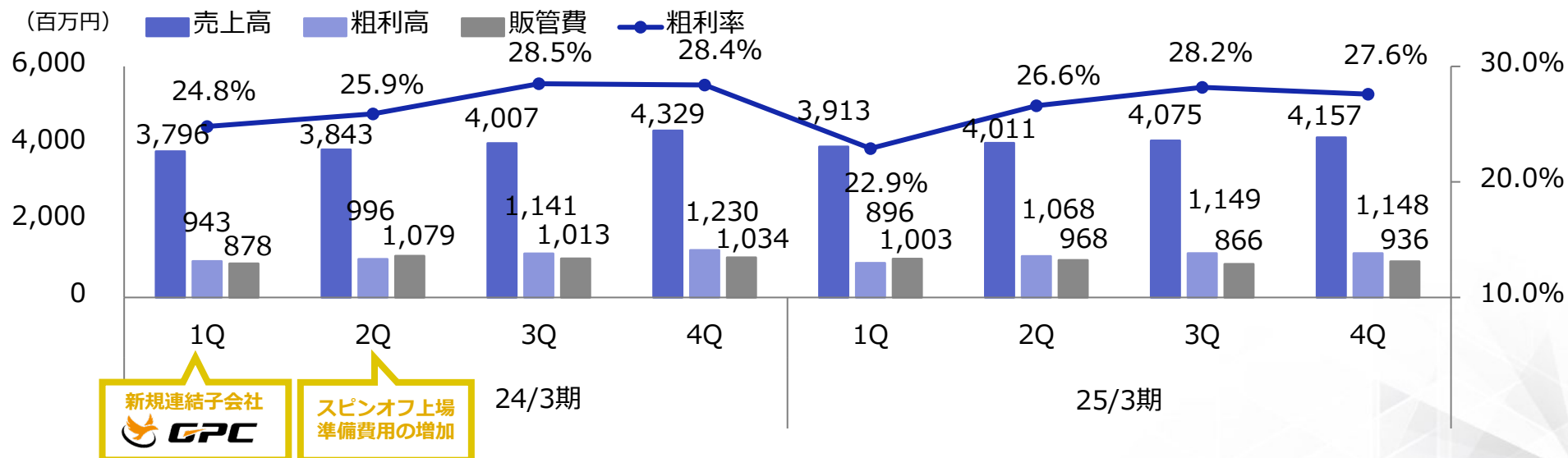
国内事業が増収増益を達成するなどAGESTグループ事業の成長をけん引し、
EBITDAは前期比117.5%と大幅に伸長

(単位：百万円)



AGESTグループ事業

業績推移



QAソリューション KPI

受注顧客数(*1/*2)

24/3期

729社

25/3期

719社

受注顧客数増減内訳

国内 +21社

海外 △31社

平均顧客単価(*1/*2)

24/3期

18百万円

25/3期

19百万円

エンジニア数(*2)

24/3期

1,070名

25/3期

1,041名

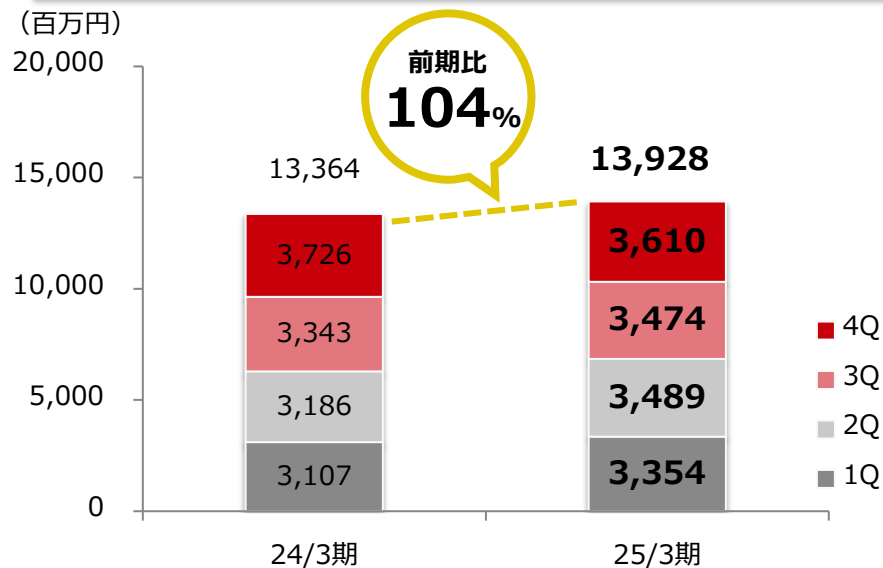
エンジニア数増減内訳

国内 +35名

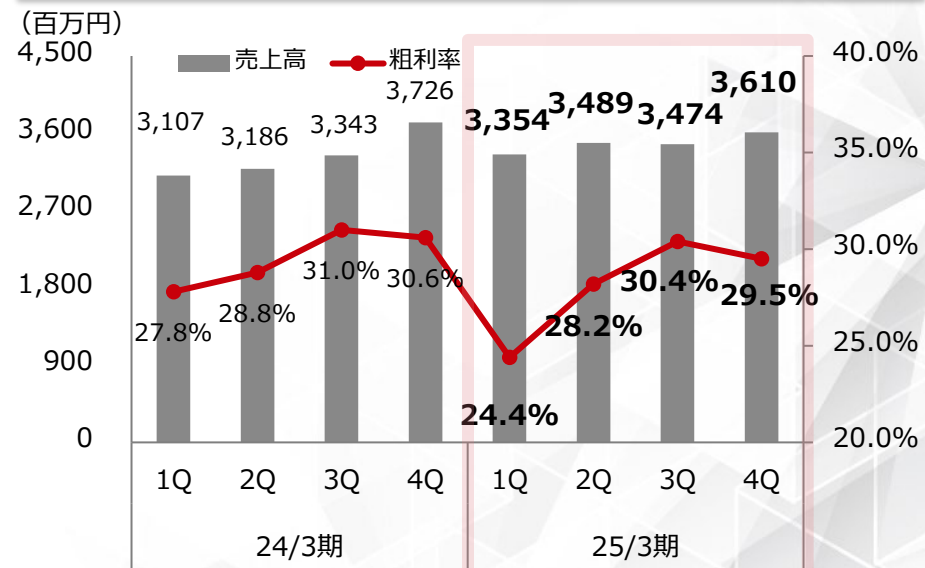
海外 △64名

- 国内事業は、好況な市場環境を追い風にテストやERP関連の新規案件及び継続案件を着実に獲得し、**前期比112%と2桁増収**を継続
- 業績が低迷していた海外事業も、ベトナムのエンジニアの日本案件への活用や欧米における成長戦略の見直し等を推進することで、**安定的に利益を創出できる体質へ転換**
- 特定案件の影響による売上縮小や外注費増加により1Qの粗利率は一時的に低下するも、**2Q以降は通常の粗利率水準を維持**
- 独自のAIテストツール「TFACT」をはじめとする**テスト領域におけるAI活用本格化**により、“テック”企業としてのブランド構築や競合他社との差別化に注力

売上高推移



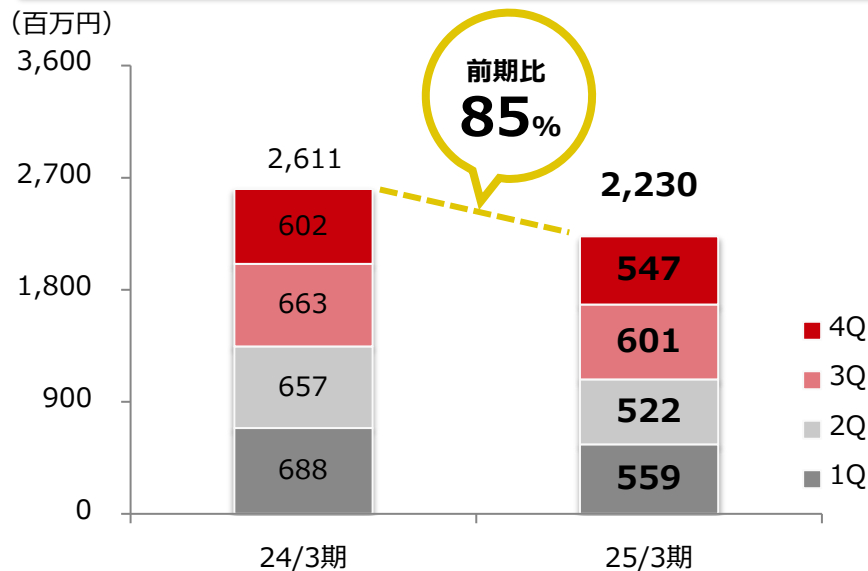
売上高・粗利率の推移



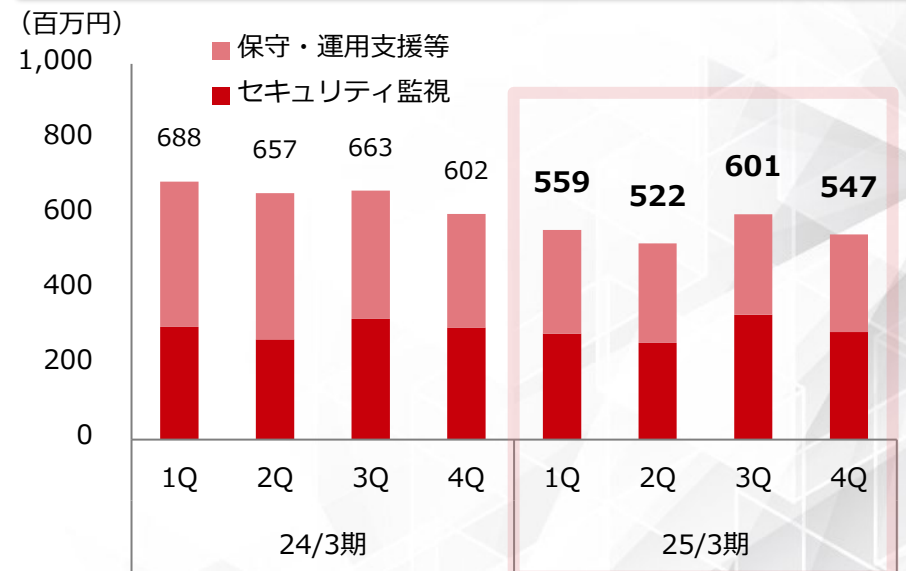
- 保守・運用支援等、一部の低収益サービスの**戦略的な縮小**を実施
- セキュリティ監視の監視台数が国内トップレベルの**76万台を突破**
- 「日本サイバーセキュリティファンド1号投資事業有限責任組合(*)」に出資するなど、**セキュリティ事業を強化**

*2024年4月1日に設立されたセキュリティ関連企業がセキュリティ企業に投資するファンド

売上高推移



サービス別売上高推移



DHグループ事業 成長戦略について

高速・大容量の通信を実現する5Gの登場やブロックチェーン技術の実用化等により ゲームのボーダーレス化が進むとともに、新たな楽しみ方も登場

2000年代

- ・各国独自のゲーム環境で、それぞれがクローズドの環境でプレイ

遊んで楽しむ



2020年代

- ・世界中のプレイヤーと同時対戦するなど、ゲームがボーダーレス化
- ・ゲーム観戦等、新たな楽しみ方も登場

つながって楽しむ

オンライン
対戦

Web3ゲーム
の登場

遊んで稼ぐ

ゲーム実況
観戦

見て楽しむ

デバイスの
多様化

CG技術の
向上

遊んで楽しむ

コンピューターグラフィックの精度向上やスマートフォン・PCのスペック、ネットワーク技術の急速な進化により、従来にはない没入感やボーダーレスのゲーム開発が活発化

ゲームメーカー各社の対応

開発コスト

ゲームの複雑化に伴い
開発費が高騰



*画像はイメージであり実際のゲーム画像ではありません。

ソフトウェアが複雑化し
不具合が発生する可能性も上昇

対応機種

マルチプラット
フォーム
展開が主流



様々なスペックのPC、
コンソールでの不具合検証が必要

対応言語

グローバル展開にあたり
多言語対応が必須



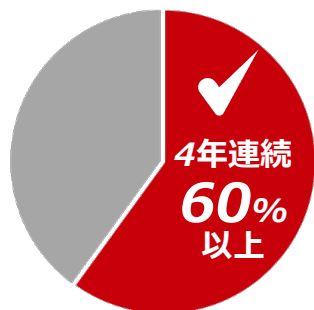
世界観やキャラクター性を
活かした翻訳や音声収録が必要

不具合のない高品質なタイトルを多様なデバイス、様々な国・地域で同時発売するため
当社に対するさらなるニーズと新たなビジネスチャンスが拡大

創業以来培ってきたゲーム業界における知見に加え様々なリソースを保有
世界市場でも数少ない、マルチ言語・マルチプラットフォームに幅広く対応できる体制を整備

(2025年3月31日現在)

1. 圧倒的なシェア



*コンソールゲームにおける国内売上Top100の
関与率 (2021年度-2024年度当社調べ)

2. ユニークな人材基盤



登録テスター数
約**8,000**名



ネイティブスタッフ
39カ国**350**名以上

3. 豊富なテスト機材



スマートデバイス
7,194台



ゲームコンソール
3,780台

4. 確かな実績



バグ蓄積件数
400万件以上



デバッグの
年間プロジェクト件数
10,000件以上

5. 独自のAIツール

ゲーム特化型
AI翻訳エンジン

eila translation
service

ゲームの世界観やキャラクター性
を活かした翻訳を実現

6. 様々な地域における 事業拠点



国内
17拠点

海外
9拠点

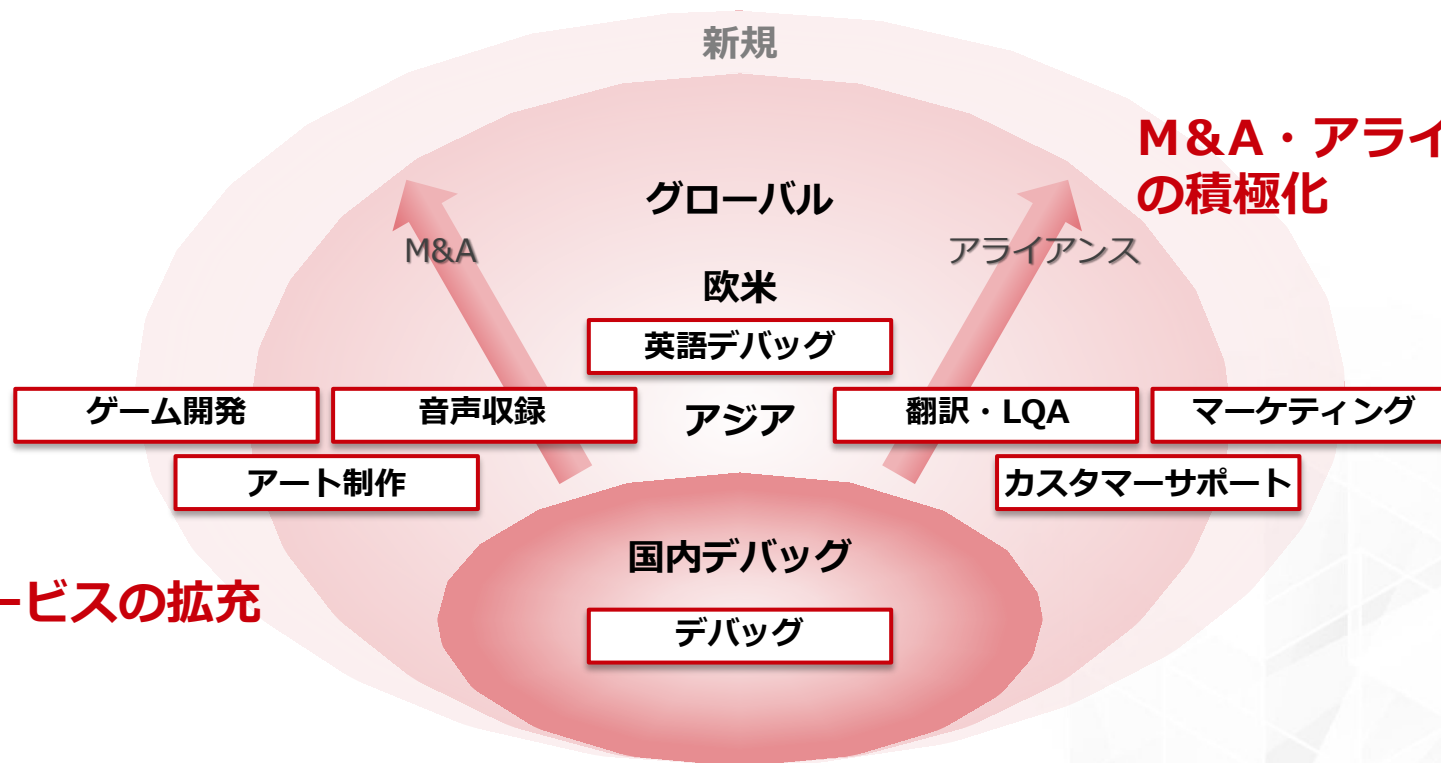
成長はグローバル領域

“サービス品質”、“スピード”を担保した**ワンストップソリューション**を拡充し
“**グローバル・クオリティ・パートナー**”として**世界市場で戦える企業**への進化を目指す

地理的拡大

M&A・アライアンス の積極化

サービスの拡充



26/3期は、成長戦略に基づく3つのアクションを重点的に実施することで、短期的な収益力の強化をはかりつつ、中長期的な成長を支える強固な事業基盤を整備

26/3期 アクションプラン

1. グローバルソリューションの拡充

2. エンタメ人材の採用・育成強化

3. AIをはじめとする技術活用

日本の“気になっちゃう”気質を活かした品質向上ソリューションを
ワンストップで提供できる体制を強化

■ワンストップソリューション

ゲーム開発

アート制作

音声収録

翻訳・LQA

デバッグ

カスタマーサポート

マーケティング

FOCUS1

資本業務提携を締結している
ジーアングル社との連携を強化し
多言語での音声収録案件獲得を目指す

G-angle

FOCUS2

「多言語同時×スピード×安定の翻訳品質」を実現する
“ella translation service”の提供体制を強化

中文

日本語

한국어

English



8カ国17言語ペアの
翻訳に対応

独自のゲーム特化型
AI翻訳エンジンを活用

ネイティブスタッフ
によるレビュー

FOCUS3

英語言語でのデバッグサービスを開始

- ・インドに現地のゲームメーカーと設立した合併会社
“JetSynthesys Digital Services Private Limited”
にて海外ゲームメーカー向けサービスの提供開始
⇒Sony Interactive Entertainmentのインド
及び中東・北アフリカ(MENA)のHero Project
Vendor Programへの参画も決定



*MENA…Middle East North Africaの略

- ・日本の約8,000名の登録テスターとネイティブス
タッフを掛け合わせ、国内での英語デバッグを開始
⇒“日本品質”を世界市場へ

ゲーム・エンターテインメントに精通した人材にしかできない 付加価値の高いソリューションを提供するための人材基盤を強化

- ・eSportsや公式VTuberの活用等による**Z世代への企業認知度拡大**
- ・コアゲーマーやフリーター、引きこもり経験者等、**学歴・経歴に捉われない採用**の継続

採用力

25/3期タウンMTG開催実績

- ・開催回数：**16回**
- ・参加人数：**139名**
- ・開催場所：初台本社、笹塚Lab.、
Tokyo Lab.、札幌Lab.、
札幌大通りLab.、仙台Lab.

- ・社内に向けた**トップメッセージ**の定期発信
- ・経営トップとの**タウンMTG**の定期開催
- ・アルバイトからの**正社員登用促進**や**評価/昇給**制度の継続見直し

リテンション



多様な キャリア

25/3期チャレンジプログラム事例

- ・インド関連会社への出向：**2名**
- ・中国子会社への出向：**1名**
- ・韓国子会社への出向：**1名**
- ・国内営業への社内異動：**3名**

- ・**DHエグゼクティブフェロー制度**の導入
- ・キャリアチェンジを可能とする**チャレンジプログラム**の実施

ゲーム・エンターテインメントに精通したユニークな人材基盤

いわゆる“エンジニア”ではなく、ゲーム好きをはじめとする多様な人材を活用することで、ゲームの世界観やキャラクター性等を活かした、“品質”にこだわったソリューション提供を実現

Step1 ゲーム/エンタメ好きであれば学歴/経歴不問で採用

- ・最初はアルバイトスタッフとして採用
- ・少人数のチーム制により、未経験者からでも実践を通じてスキルアップが可能



ゲーマー



元エンジニア



外国人



ミュージシャン



声優



引きこもり
経験者

etc...



Step2 志向に合ったキャリアを選択できるようなキャリアパスを整備

デバッグの
エキスパート

翻訳・LQAの
エキスパート

管理職

バックオフィス

営業職

etc...

執行役員と同等の処遇となる専門職の最高職位
“DHエグゼクティブフェロー”制度を導入

海外子会社への出向や営業職へのキャリア変更も可能とする
チャレンジプログラムを実施

これまで機械翻訳では難しいと言われてきたゲームの翻訳に
“感情”を表現するAI翻訳エンジン「ella」が革命を起こす

ella translation
service

進行中のトライアル案件を含め

70件以上受注！

(*2025年4月30日現在)

■特徴

1. **ゲームの世界観やキャラクター個性を反映**した感情豊かな翻訳を実現
2. 従来の翻訳と比較し**時間を約40%短縮**(※1)するなど、圧倒的スピードを実現
3. “エンタメ品質”に妥協しない**ゲームに精通したネイティブスタッフ**がレビューすることで高い品質を担保

■対応言語 **2025年2月に9言語フルローンチ！**

アジア言語 : 日本語・中国語(繁体字/簡体字)・韓国語

欧米言語 : 英語・フランス語・イタリア語・ドイツ語・スペイン語



事業領域拡大に向け、M&Aやアライアンスを積極活用

ソリューション拡充



Localsoft, S.L.

スペインのローカライズ企業
と業務提携



(株)ジーアングル

ゲームの音声収録事業等を
展開する企業と資本業務提携

新規事業創出に向けた新たなチャレンジ



81RAVENS PTE. LTD.

P2Eゲーム“PARAVOX”
の開発・運営会社へ出資



(株)TOKYO GameFi

Web3ビジネスを手掛け
る企業へ出資



(株) Fennel

eSportsチームの運営等
を手掛ける企業へ出資



Turing(株)

AIを活用した完全自動運転
車両を開発する企業へ出資



売上成長率

*M&A等による成長も含む

中長期目標

前期比
+10%以上

25/3期実績

前期比
+1.8%
(子会社売却の影響を除外すると**+5.2%**)



グローバルサービスの 売上成長率

*翻訳・LQA、マーケティング支援、
海外デバッグの売上高

前期比
+20%以上

前期比
+19.5%



営業利益率

10%以上

8.1%
(子会社売却の影響を除外すると**9.0%**)



ROIC15%以上

*ROIC=(EBITDA×(1-実効税率))÷
(有利子負債+自己資本)で算出

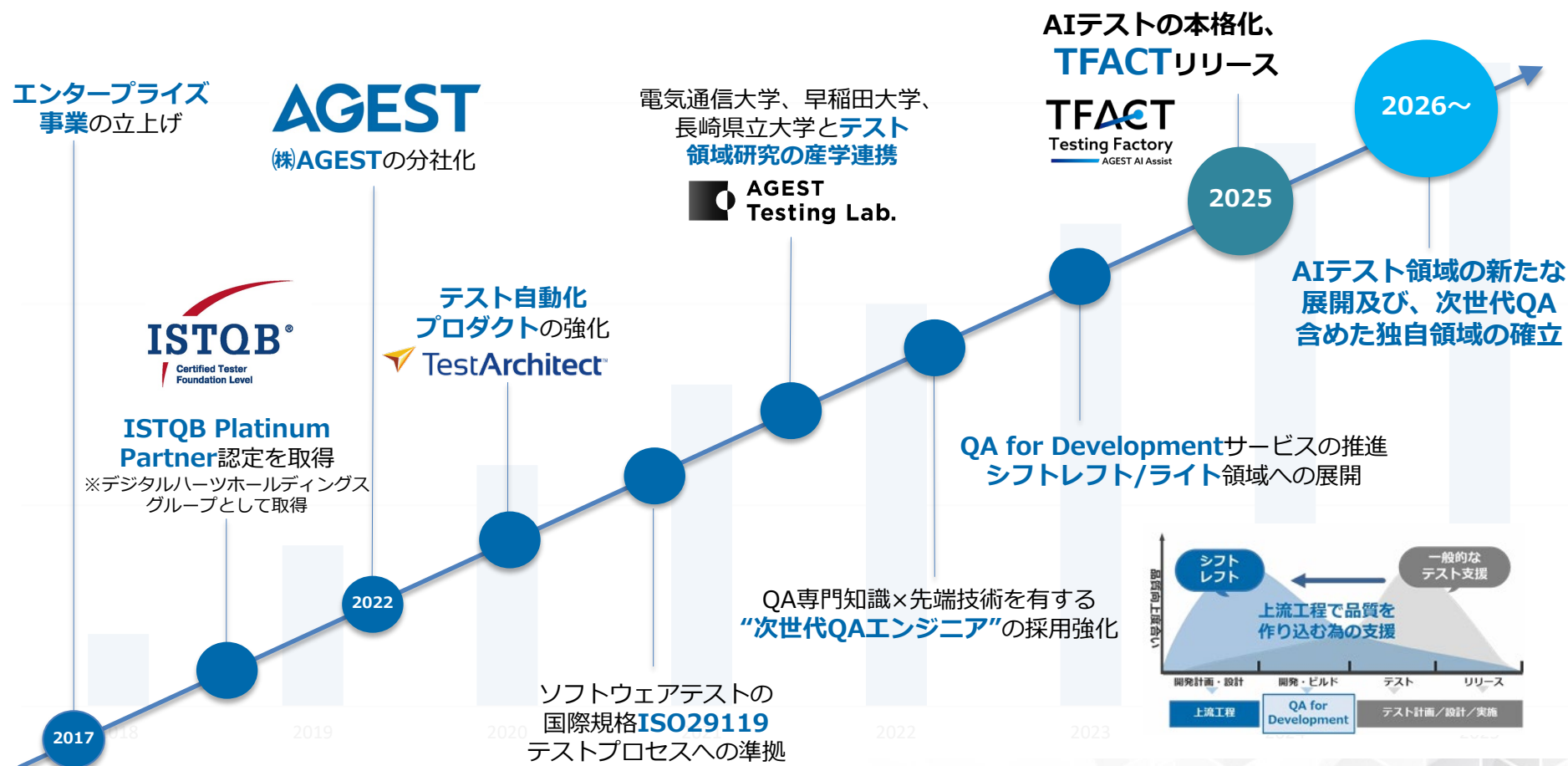
15%以上

16.1%(*1)

*1 ROICの数値のみ、AGESTグループ事業も含めた当社グループ連結で算出

AGESTグループ事業 成長戦略

2017年以降、マニュアルテストを人月ベースで支援するモデルから、自動化ツールの提供や開発上流工程へのQAサービス等に領域拡大。さらに今後は、QA専門企業としての経験と技術力をベースに、**AIテスト領域でのデファクトスタンダード**を目指す。



国内QAソリューションのエンジニア採用は好調に推移。リファラル採用の強化等により、**採用効率は大幅に向上**。またQAの研究開発についても、**次世代QA領域とAI領域**、双方の強化により、**先端品質の技術基盤を確立**。**営業体制の強化**も行い、継続的な大幅増収を実現する。

エンジニア採用

エンジニア採用は好調に推移。リファラル採用の強化やブランディングにより**低単価の採用獲得を仕組化**。QAエンジニア採用を加速させる。

リファラル採用

ブランディング

事業部
主導型採用

次世代QA
キャリア

23/3期

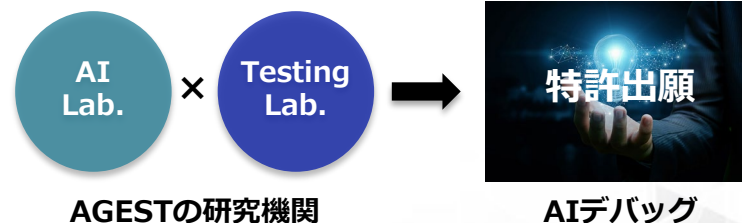
25/3期

採用単価 1.5百万円 ▶ 1.0百万円

2年間で採用単価を33%低減

技術

AGESTの研究開発機関により新サービスを順次リリース。また、技術基盤確立に向け、積極的な特許取得も行っていく。



営業

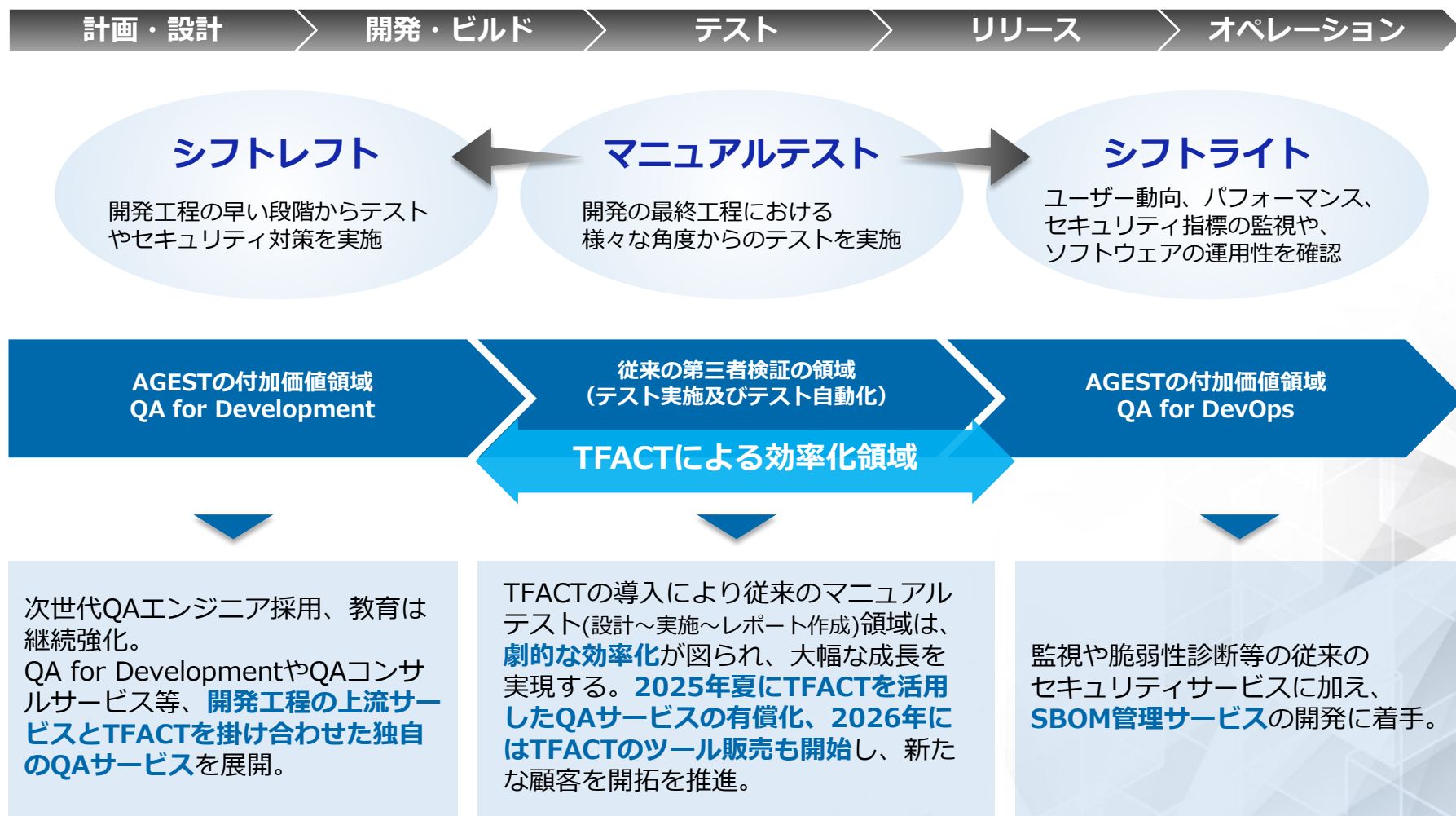
国内QAソリューションを中心に営業体制を強化。**インサイド、フィールド双方の拡充**により、リード～受注までの効率化、最大化を狙う。

25/3期

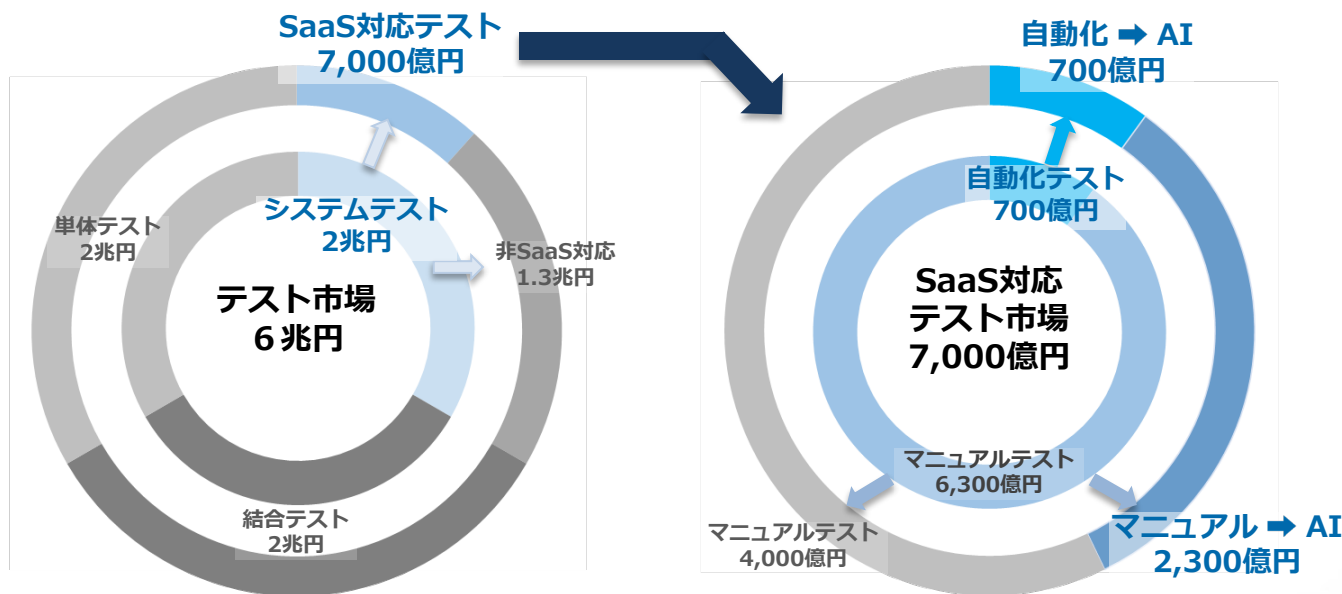
26/3期(計画)

営業人数 35人 ▶ 56人

次世代QAエンジニアの強化は継続。設計、実施等のマニュアルテスト領域はTFACTにより効率化。各領域の強化により独自QAサービスの確立を目指す。



さらなるテスト対応領域拡大等の進化を続け、このマーケットにおける**圧倒的なシェア獲得を狙う**



マニュアルテストとAIテストを併用したサービス展開から市場浸透を進め、ツール販売等により、大幅な拡大を図り、市場のデファクトスタンダードを狙う。

残りの6,300億円は、自動化に向けた「導入コスト」「専門性」「スクリプト作成時間」「仕様書等の入力ドキュメント不足」等の理由でマニュアルテストに留まっている状態。TFACTは各課題の解決を実現することで、6,300億円の約40%(2,300億円)の市場をAIテストへの転換が可能に。

A diagram illustrating the components of a Software Bill of Materials (SBOM). At the center is a white circle with a blue border containing the text "SBOM". Surrounding this central circle are six blue rounded rectangular boxes, each containing a component name in Japanese. Starting from the top left and moving clockwise, the components are: "OSS", "ライセンス" (License), "バージョン" (Version), "依存関係" (Dependency), "ライブラリ" (Library), and "開発元" (Developer/Origin).

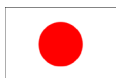
AGESTは、SBOM作成、ライセンス管理、最新の脆弱性情報との照合・分析等を提供し、お客様の開発生産性の向上やセキュリティ強化に対応していく。

市場動向

- 



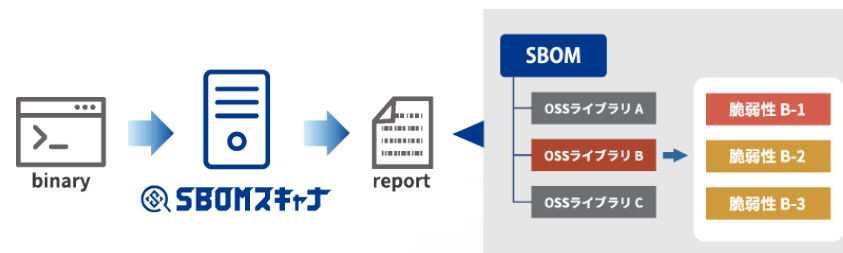
■ 国内においても**各省庁・業界団体がSBOM活用を推進**



■ 国内各社は活用を検討しているものの導入は進んでいない状況

国内SBOM導入率 14%(*2)

AGESTは、IoT機器向けのSBOM管理サービスをいち早く展開。IoT機器のファームウェア等のバイナリファイルからSBOMを生成し、脆弱性情報を網羅的に管理



AGESTは、IoT・組込機器に加え、
**Webシステム、サーバ、業務システム領域の
SBOM管理サービスに着手。**

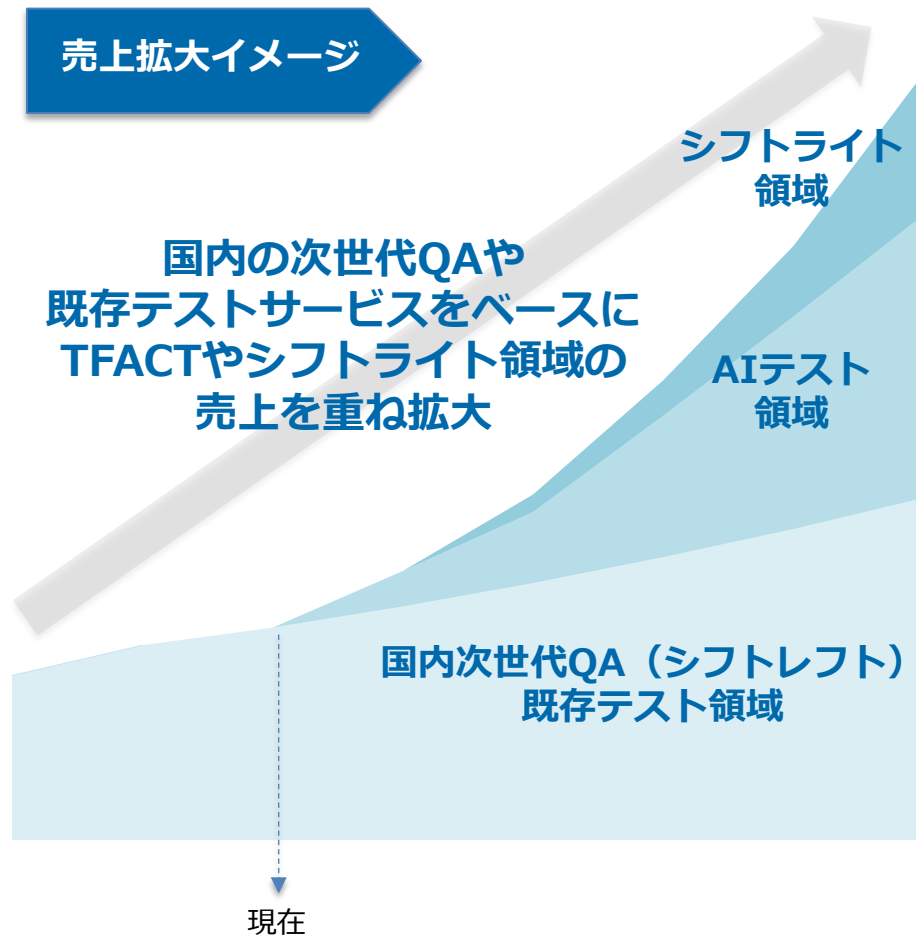
国内における導入課題に対応したツール開発により、**純国産No.1のSBOM管理サービス確立**を目指す。

*1 出典：QYResearch “Global Software Bill of Materials (SBOM) Market Insights, Forecast to 2030”

*2 出典：タニウム合同会社「国内におけるSBOMに関する実態調査結果について」

ベースとなる国内の次世代QAサービス拡大に加え、TFACTの市場浸透・ツール販売拡大、シフトライト領域のSBOM管理サービスの立上げにより、さらなる成長を実現していく。

売上拡大イメージ



▶ 純国産のSBOM管理サービスによるプレゼンスを発揮

▶ 次世代QAとTFACTによる独自QAサービスにより拡大。ツール販売の開始により、**市場のデファクトスタンダードとして圧倒的な市場シェアを獲得**

▶ 次世代QAを中心としたベースとなるテスト事業は**大幅増収を継続**

参考資料

当社グループの
ミッション

SAVE the DIGITAL WORLD

マクロ環境

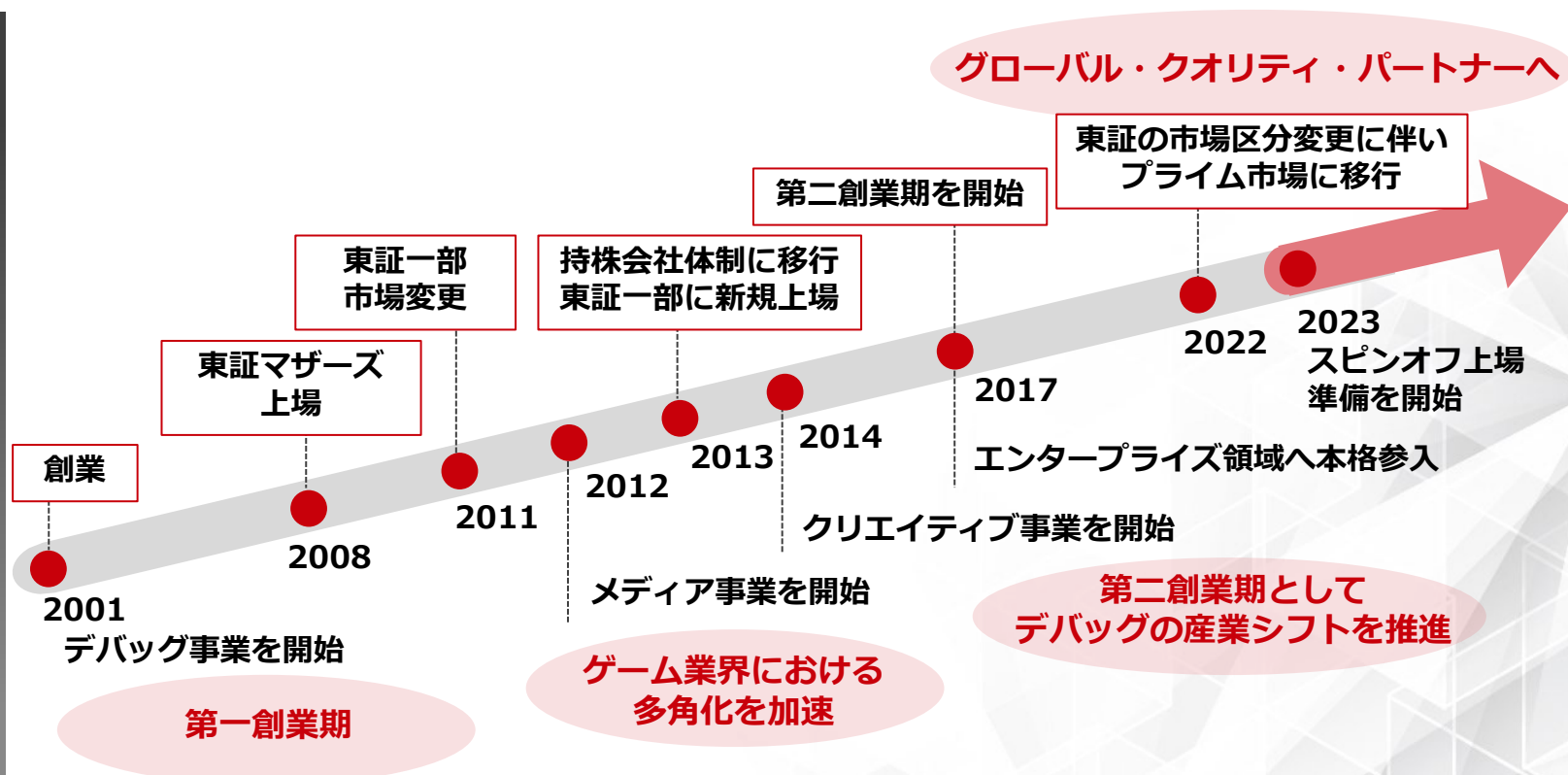
コンソールゲームの
隆盛

モバイルゲームの
隆盛

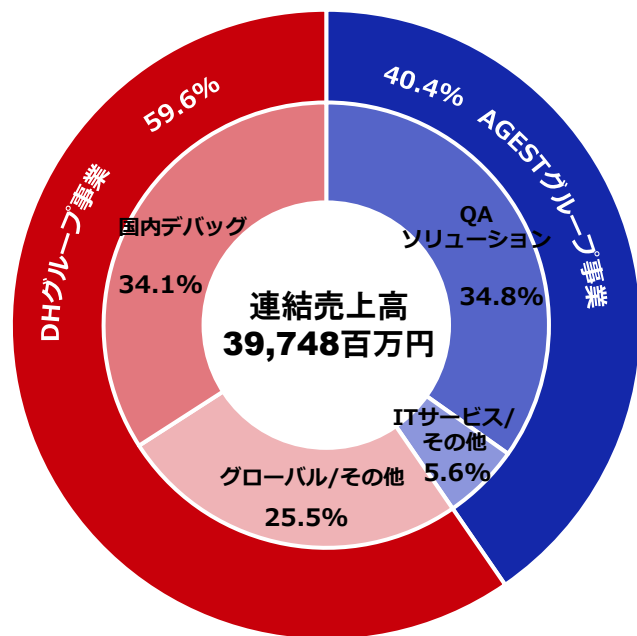
IoTの進展

DXの進展

当社グループの
沿革



ソフトウェアの不具合を検出するデバッグ・QA(Quality Assurance)が主力



2025年3月期売上高構成比

* 売上構成比は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて算出

DHグループ事業	国内デバッグ	34.1%	➢ コンソールゲーム / モバイルゲームの検証
	グローバル/その他	25.5%	➢ ゲームの翻訳・LQA(*1) ➢ マーケティング支援 ➢ ゲーム開発、2D/3Dグラフィック制作 ➢ 総合ゲーム情報サイト“4Gamer.net”の運営
AGESTグループ事業	QAソリューション	34.8%	➢ Webシステムや業務システム等の検証 ➢ テスト自動化支援 ➢ セキュリティテスト ➢ ERP導入支援 ➢ システムの受託開発
	ITサービス/その他	5.6%	➢ セキュリティ監視 ➢ 保守・運用支援



DIGITAL HEARTS HLDGS.

(持株会社)

(2025年3月31日現在)

DHグループ事業

株式会社デジタルハーツ

国内企業向けゲームデバッグ・ローカライズ等

DIGITAL HEARTS CROSS Group

マーケティング支援

DIGITAL HEARTS (Shanghai) Co., Ltd.

ゲームデバッグ・ローカライズ等

DIGITAL HEARTS Seoul Co., Ltd.

ゲームの翻訳・マーケティング支援等

Digital Hearts Linguitronics Taiwan Co., Ltd.

ゲームの翻訳等

JetSynthesys Digital Services Private Limited

海外クライアント向けゲームデバッグ

株式会社フレイムハーツ

ゲーム開発支援・2D/3Dグラフィック制作支援

Aetas株式会社

日本最大級の総合ゲーム情報サイト“4Gamer.net”の運営等

AGESTグループ事業

株式会社AGEST

システムテスト、サイバーセキュリティ等

AGEST Vietnam Co., Ltd.

システムテスト、システム開発支援

LOGIGEAR CORPORATION

システムテスト、テスト自動化支援

DEVELOPING WORLD SYSTEMS LIMITED

Oracle製品の導入支援、保守・運用支援等

株式会社CEGB

SAPの導入・運用支援、システム開発支援等

株式会社GPC

SAP/ERP導入支援、オープン系システム開発等

(2025年3月31日現在)





(百万円)	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期 (旧基準)	24/3期 (新基準)	25/3期
売上高	17,353	19,254	21,138	22,669	29,178	36,517	38,790	38,790	39,748
DHグループ事業 (旧:エンターテインメント事業)	15,568	15,951	16,115	15,647	17,687	19,815	19,180	23,488	23,906
AGESTグループ事業 (旧:エンタープライズ事業)	1,892	3,302	5,022	7,021	11,491	16,840	19,714	15,975	16,158
調整額	-108	-0	-	-	-	-138	-105	-674	-316
営業利益	1,735	1,605	1,394	1,908	2,696	3,000	2,039	2,039	2,430
DHグループ事業 (旧:エンターテインメント事業)	2,966	3,086	2,964	3,077	3,668	4,214	3,325	1,734	1,941
AGESTグループ事業 (旧:エンタープライズ事業)	-14	-226	-67	188	645	639	423	305	488
調整額	-1,215	-1,254	-1,503	-1,356	-1,616	-1,853	-1,709	-	-
営業利益率	10.0%	8.3%	6.6%	8.4%	9.2%	8.2%	5.3%	5.3%	6.1%
DHグループ事業 (旧:エンターテインメント事業)	19.1%	19.3%	18.4%	19.7%	20.7%	21.3%	17.3%	7.4%	8.1%
AGESTグループ事業 (旧:エンタープライズ事業)	-	-	-	2.7%	5.6%	3.8%	2.1%	1.9%	3.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,200	1,575	792	974	1,778	799	176	176	629
総資産	8,575	9,832	10,637	14,338	17,610	19,581	21,103	21,103	19,949
流動資産	6,732	7,403	7,453	9,744	10,392	12,528	13,526	13,526	14,069
現金及び預金	3,894	4,197	3,739	5,076	5,208	6,456	6,858	6,858	7,593
固定資産	1,842	2,428	3,183	4,593	7,217	7,052	7,576	7,576	5,880
のれん	150	481	1,027	2,467	4,588	3,468	2,313	2,313	1,035
負債合計	5,005	4,819	5,198	8,024	10,044	10,107	12,250	12,250	10,688
有利子負債	2,627	2,272	2,553	4,797	5,590	5,127	7,133	7,133	5,249
純資産合計	3,570	5,012	5,438	6,314	7,566	9,474	8,852	8,852	9,260
自己資本	3,369	4,791	4,922	5,691	6,991	8,806	8,415	8,415	8,953
自己資本比率	39.3%	48.7%	46.3%	39.7%	39.7%	45.0%	39.9%	39.9%	44.9%
ネットキャッシュ	1,266	1,924	1,186	278	-382	1,328	-275	-275	2,343
D/Eレシオ (倍)	0.8	0.5	0.5	0.8	0.8	0.6	0.8	0.8	0.6
営業CF	1,436	889	1,086	1,416	3,077	2,850	1,759	1,759	3,119
投資CF	-618	62	-1,018	-1,813	-2,537	-1,903	-2,369	-2,369	-5
財務CF	-250	-693	-515	1,730	-546	141	934	934	-2,555
ROE	40.0%	38.6%	16.3%	18.4%	28.0%	10.1%	2.1%	2.1%	7.2%
配当性向	20.9%	18.0%	38.6%	31.0%	18.2%	57.5%	264.5%	264.5%	81.4%

*当社は25/3期より開示セグメントを変更しております。

そのため、上記一覧のセグメント別実績については、24/3期及び25/3期は現在の開示セグメントに、23/3期以前は旧開示セグメントに基づく数値にて記載しております。

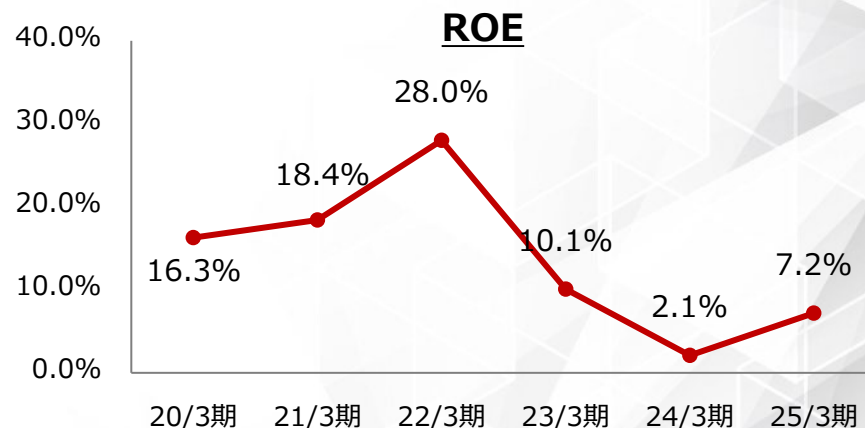
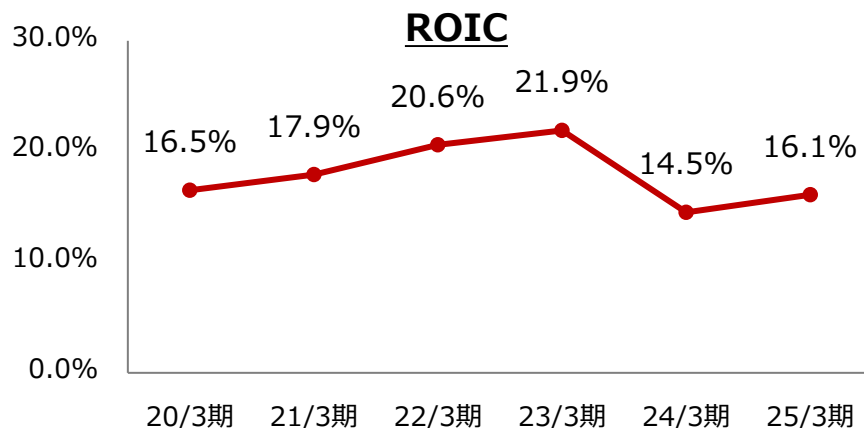
基本方針

当社は、健全な財務基盤のもと、人材、技術、M&A等への積極的な成長投資を行うことで、持続的な企業価値向上を目指しています。また、その投資判断においては“ROIC15%以上”という当社の財務規律を遵守することで、最適な資本効率の維持に努めています。

これらの結果、当社では、2025年3月期までの過去5年間に於いて、安定成長事業であるDHグループ事業においてもCAGR+10%程度、成長が期待されるAGESTグループ事業ではCAGR+20%以上と高い売上成長率を記録する一方、資本効率の面では、同5年間のROICは15%~20%前後と当社のWACC(4~6%)を大きく上回る水準を維持してまいりました。

また、当社では、DHグループ事業及びAGESTグループ事業それぞれの成長スピードの加速及び資本効率の維持・向上を目的に、2023年5月よりAGESTグループ事業の中核子会社である株式会社AGESTの株式分配型スピンオフ及び上場に向けた準備を進めております。今後も、このような資本コストを意識した経営やさらなる成長に向けた挑戦を続けることで、企業価値の最大化を目指してまいります。

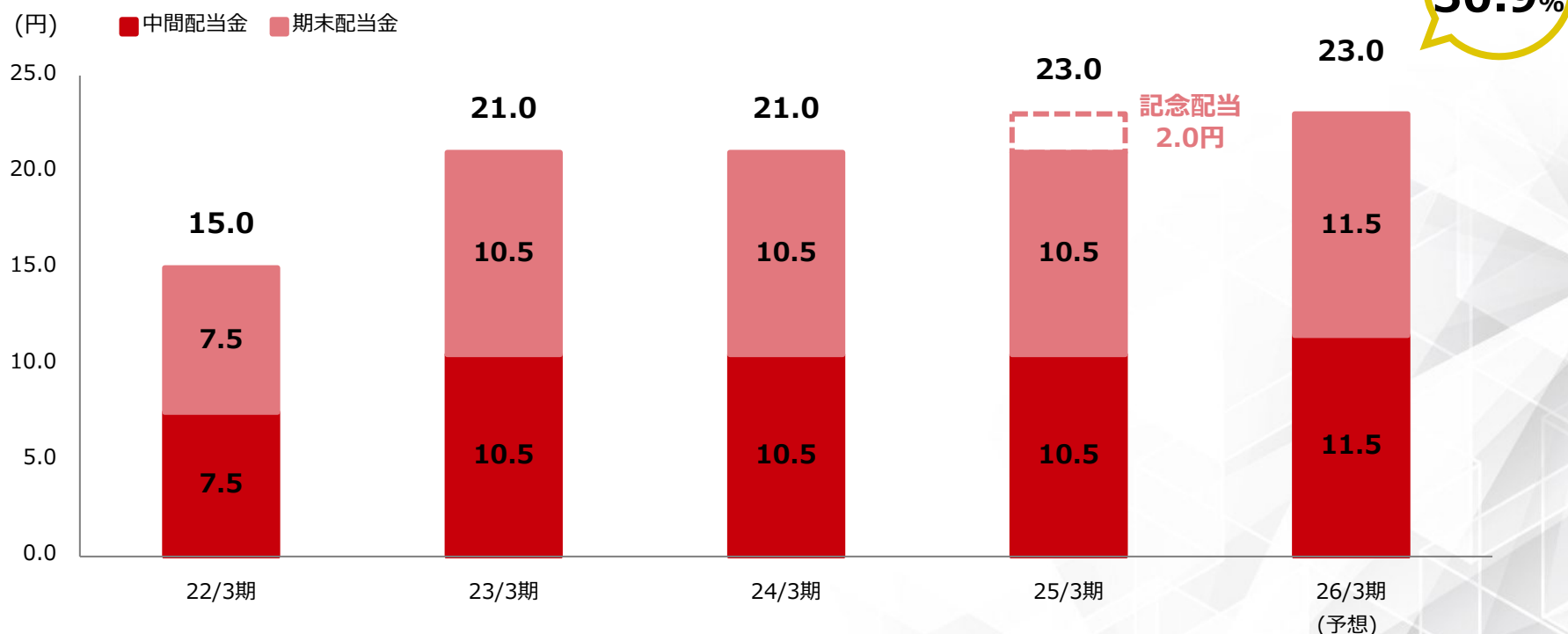
ROIC/ROE推移



株主還元基本方針

事業成長投資と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、
配当性向20%を下限の目途として、株主の皆様へ安定的な配当を実施

配当金の推移



主なリスク

当社の取り組み

1. 機密情報の漏洩

- ・ テストルームへの私物持ち込み禁止
- ・ 指紋認証入室/監視カメラの設置等物理的なセキュリティ対策
- ・ 登録テスター全員を対象とする身元保証人制度の導入

2. AI等の技術革新による既存サービスの陳腐化

- ・ テスト自動化やAI活用等、最新技術への対応を推進
- ・ 付加価値の向上を図るべく新サービスの開発を促進

3. 生産年齢人口の減少

- ・ 多様な世代/人種/バックグラウンドを持つメンバーが活躍できる社内教育体制を整備
- ・ 海外拠点も活用した戦略的な人材確保

4. 企業買収や新規事業の拡大

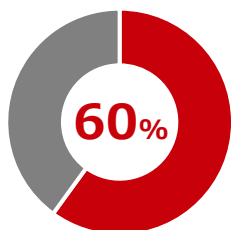
- ・ 綿密な市場調査やデューデリジェンスの実施
- ・ 買収後の適切な経営管理体制の構築によるリスク低減

(2025年3月31日現在)

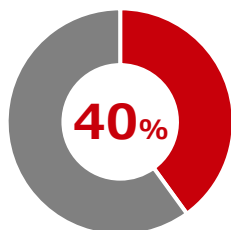
取締役会

創業者や様々な業種の企業経営経験者、公認会計士、弁護士等、多様なバックグラウンドを持つメンバーから成り、多角的な視点からのディスカッションを実施

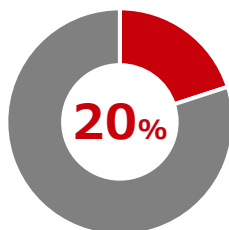
社外取締役



独立役員



女性取締役



監査役会

財務・会計やコンプライアンス等の専門的知見や経験を有するメンバーが、取締役の職務の執行を監査

投資委員会

M&A等一定規模の投資が発生する際、事前に審議することで適切な投資を実施

リスクマネジメント委員会

全グループ会社横断型でのリスクの洗い出し及び対応策を策定

女性管理職比率^{*1}

18.9%

全従業員に占める
外国人の割合^{*2}

11.2%

全従業員に占める
障がい者の割合^{*3}

2.6%

^{*1} 報告対象：当社及び国内外の連結子会社すべて

^{*2} 報告対象：当社及び国内連結子会社

^{*3} 報告対象：(株)デジタルハーツホールディングス、(株)デジタルハーツ、(株)AGEST、(株)デジタルハーツプラス

当社グループの取り組み事例とSDGsの各目標の関連

人材

日本におけるIT人材不足の解消

- ・ソフトウェアテスト技術者資格“ISTQB”取得支援制度の推進
- ・独自の教育機関「AGEST Academy」において、世界トップレベルのテストエンジニアトレーニングプログラムを提供

人材

多様な人材が活躍できる職場の実現

- ・学生やフリーター、役者・ミュージシャン等の夢を追いかけている方、障がいをもつ方といった多種多様な人材が日々3,000名以上活躍できる場の提供
- ・言語デバッグ等に従事するアジアや欧米等35カ国以上の外国籍の人材の雇用

技術

安心・安全なデジタル社会の実現

- ・独自の技術研究機関「AGEST Testing Lab.」を設立し、産学連携により常に進化するソフトウェア社会を支えるための新しいテスト技法の研究を推進
- ・AIを活用した独自のツールやソリューションの開発を推進

地域社会

地域活性化及び地方におけるIT格差の解消

- ・全国に展開するテストセンター(Lab.)や在宅勤務を活用した地方における雇用創出





用語	意味
バグ	コンピュータプログラムの誤りや欠陥、不具合のこと。
デバッグ	ゲームソフトに潜むバグをユーザー目線で検出する業務。なお、一般的にデバッグは、バグを検出し修正することを指すが、当社グループの「デバッグサービス」は、修正作業は行わず“バグを発見し報告する”ことに特化している。
QA	Quality Assurance(品質保証)の略。
LQA	Linguistic Quality Assuranceの略であり、翻訳されたテキストや構成の品質を確認すること。
シフトレフト	ソフトウェア開発において、バグや脆弱性による開発の手戻りを防ぐため、開発工程の早い段階からテストやセキュリティ対策を行うことで、開発サイクル全体の高速化と安全性を高める考え方。
シフトライト	ソフトウェアのリリース後に、ユーザーの運用状況から得られるデータ等を活用しながら、継続的に品質向上を図る手法のこと。
QA for Development	シフトレフトに対応した高付加価値型ソリューションの当社呼称。
DHQ	Digital Hearts Qualityの略で、クライアントの成功にコミットする当社独自のQAメソッドや行動指針を定義したもの。
テスター	デバッグ業務を行うスタッフのこと。(当社の呼称) ゲーム好きをはじめ、役者やミュージシャン等多種多様な人材が在籍。登録アルバイト制であり、現在約8,000名が登録している。
次世代QAエンジニア	ソフトウェア開発の知識とテストの知識両方を持ち合わせ、開発からリリース後までトータルで品質向上の最適化を実現できる最上位のQAエンジニア。
コンソールゲーム	Nintendo SwitchやPlayStation等、専用のハード機器を用いて遊ぶゲームのこと。
ウォーターフォール型開発	開発前に搭載する機能や仕様を明確に定義し、開発プロセスに沿って順番に開発を行うスタイル。「前の工程に戻れない」という前提で開発を進めるのが特徴。
アジャイル開発	開発したいシステムのスタイルを大まかに定義し、計画・設計・実装・テストといった開発工程を機能単位の小規模なサイクルで繰り返し開発を進めていく手法のこと。ウォーターフォール型開発とは異なり、「前の工程に戻る」ことを前提に開発を進めるのが特徴。



DIGITAL HEARTS HLDGS.

＜お問い合わせ先＞

IR 広報室

電話：03-3373-0081

Email：ir_info@digitalhearts.com

HPアドレス：<https://www.digitalhearts-hd.com>

本資料はインベスター・リレーションズに関わる活動（IR活動）を実施する際の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資判断の参考となる情報の提供及び投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料は弊社が信頼に足ると思われる各種情報に基づいて作成しておりますが、弊社はその正確性及び完全性を保証するものではありません。また、本資料の内容は、作成時における弊社の見解または評価を示したものであり、市場環境の変化等により予告なく変更される場合があります。

また、本資料は弊社の著作物であり、著作権法により保護されております。弊社の事前の承諾なく、本資料の全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

なお、各社の会社名、サービス・製品名は各社の商標または登録商標です。